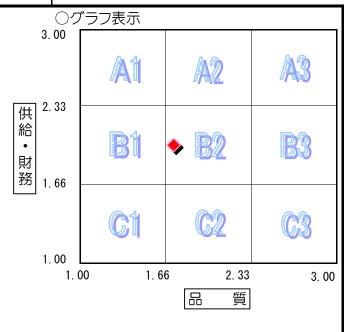
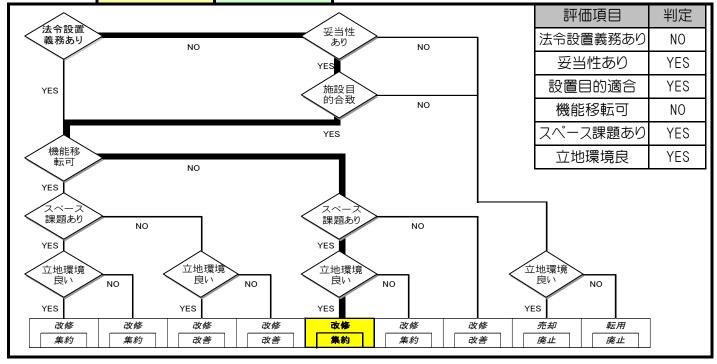
	施設番号	807096012001	施設名	称	浜村	設名称	
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱者	i	浜松江之島高校	( - ) Antie
	用途	教育施	灵	i	設置年	1984	
基本	施設目的	高等学校					
· 情 報	敷地面積	41,07	'3.35 m <sup>‡</sup>	延床面	積	12,879.65 m²	内部
拟	土地台帳価格	1,605	,792 千円	建物台帕	<b>長価格</b>	629,563 千円	
	用途地域	指定なし		路線	価	<b>21,945</b> 円/m	
	交通アクセス	最寄り駅:浜松駅か バス20分 徒歩3分		•			

# ◆**第1段階** B2 品質 1.77点 供給•財務 2.00点

_	15 : 1214							_
	○主	な内訳			(括弧	内は	偏差値)	
	品質	建築後経過	<b>過年数</b>	31.4年		2.00点		
	品質	建築劣化度	屋上防	水	1990.	0年	1.28点	
	品質	连架为汇反	外壁		1984.	6年	1.00点	
	品質	設備劣化度	空気調和	設備	1995.	8年	0.96点	
	品質	可用力化皮	受変電調	受変電設備		0年	1.00点	
	品質	津波性能	3.00点	耐	震性能		3.00点	
	品質	エネルギー/面積	0.	17GJ (61.42)		42)	3.00点	
	供給	面積/人数	18.	.61m²	61m <sup>2</sup> (48.04)		3.00点	
	供給	生徒充足	<b>足率</b>		96.11%		2.00点	
	供給	入学試験	:倍率		1.	.0倍	1.00点	
	財務	コスト/人	438,4	12円	(49.	44)	2.00点	
	財務	コスト/面積	1,9	40円	0円 (42.74)		3.00点	



## ◆第2段階<mark>施設面: 改修</mark>運用面:集約



#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在ま	建設費	1,293	百万円 百万円	持管理費 B(※2)	49	百万円
で)	使用年数 A(※1)	31.4 年	小計		1,342	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	414	百万円	維持管理費 (※3)	16	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	2,272	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	2,702	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	414 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	大規模改修 パターン	2,787 百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿 命化を図っていく。
(1)	建替え パターン	4,639 百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年6クラスの中規模の普通・芸術を併設する高校である。
これまでの保全の 状況	校舎棟外部において、浮きや防水シートの剥がれが見受けられるが、内部については良好な保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価

施設面: 改修

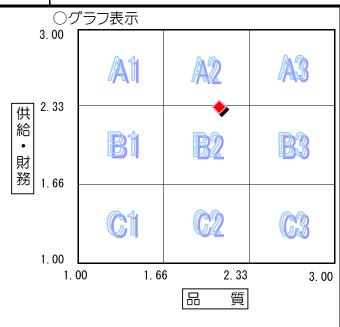
運用面: 集約

補 施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、スペースの活用に課題があるため、他の機能を取り込む等、集約を図る必足 要がある施設。

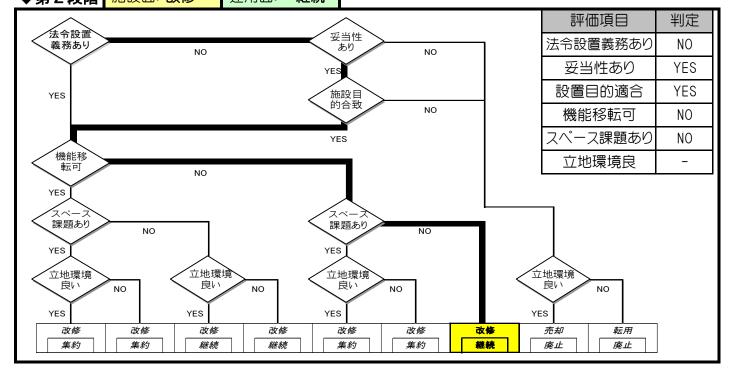
	施設番号	807097012001	施設名	称		小山高等学校		外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱者		小山高校		
	用途	教育施	設	部	置年	1985		
基本	施設目的	高等学校						
情 報	敷地面積	40,35	4.88 m <sup>‡</sup>	延床面	積	11,453.37	'n	内部
郑	土地台帳価格	701	,944 千円	建物台帳	価格	748,319	) 千円	
	用途地域	指定なし		路線個	<b>T</b> i	-	円/㎡	
	交通アクセス	最寄り駅:足柄駅か 徒歩15分	Ġ		•			

### ◆**第 1 段階** A2 品質 2.17点 供給•財務 2.33点

-	אים	X PB / \C	7		"	כענינא טיווא	
	○主	な内訳			(括弧	ふ内は	偏差値)
	品質	建築後経過	<b>過年数</b>	3	30.7年	Ξ	2.00点
	品質	建築劣化度	屋上防	水	2002.5年		2.19点
	品質	连架为化反	外壁		1985	.3年	1.00点
	品質	設備劣化度	空気調和	設備	1997	.5年	2.01点
	品質	10000000000000000000000000000000000000	受変電詞	设備	2014	.0年	3.00点
	品質	津波性能	3.00点	耐	震性能		3.00点
	品質	エネルギー/面積	0.3	23GJ (59.6		.67)	3.00点
	供給	面積/人数	24.	16 m (51.7		77)	3.00点
	供給	生徒充足	<b>E</b> 率		98	.75%	3.00点
	供給	入学試験	倍率			1.1倍	2.00点
	財務	コスト/人	491,5	74円	(50.41)		2.00点
	財務	コスト/面積	2,5	75円 (43.6		.65)	3.00点



# ◆**第2段階 施設面: 改修** 運用面: **継続**



#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在ま	建設費	2,467		持管理費 B(※2)	53	百万円
(建成時から現在よ	使用年数 A(※1)	30.7 年	小計		2,520	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	368	百万円	維持管理費 (※3)	17	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	2,110	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	2,495	百万円

#### ※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	368 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	大規模改修 パターン	2 /1 / 8	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
を除く)	建替え パターン		今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年4クラスの小規模の普通高校である。 定時制が設置されている。
これまでの保全の 状況	建物等について、概ね良好な状態であるが、外部の庇・壁等に鉄部の爆裂が見受けられる。
その他	小山地域の唯一の学校であり、過疎地域の教育機会を保障する観点から現時点では集約は予定なし。

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価

施設面: 改修

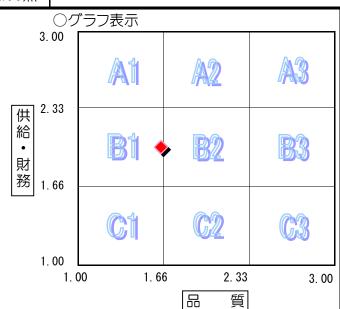
運用面: 継続

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、計画的な保全を適切に実施していくべき施設。

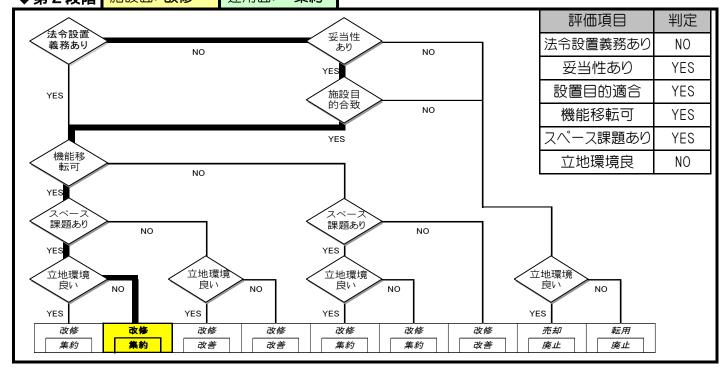
	施設番号	807097013001	施設名	称	,	小山高等学校		外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱者		小山高校		
	用途	職員住	宅	彭	設置年 1988			
基本	施設目的	教職員住宅						
· 情 報	敷地面積	2,23	8.38 m <sup>‡</sup>	延床面積	漬	9:	39.60 m <sup>*</sup>	内部
拟	土地台帳価格	87	,383 千円	建物台帳值	西格	9	7,840 千円	
	用途地域	指定なし		路線価	<u> </u>		— 円/㎡	
	交通アクセス	最寄り駅:富士岡駅	から	-	<u>-</u>			
	文地/ノビハ	タクシー10分						

### ◆第 1 段階 B2 品質 1.68点 供給·財務 2.00点

○主	な内訳			(括弧内は	編差値)
品質	建築後経済	<b>過年数</b>	2	28.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防	水	1988.0年	1.00点
品質	连来力记反	外壁		1988.0年	1.00点
品質	設備劣化度	空気調和	設備	1988.0年	1.00点
品質	议(開力) 1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.	受変電調	设備	1988.0年	1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐	震性能	3.00点
品質	エネルギー/面積		-	1	-
供給	面積/人数		-	1	-
供給	入居率•入	、所率		43.8%	1.00点
財務	コスト/面積	2	77円	(40.36)	3.00点



# ◆**第2段階 施設面: 改修** 運用面: **集約**



#### □コスト推計

(建	主な投資コスト(建設時から現在ま	建設費	167	百万円	維持管理費 B(※2)	0	百万円
	で)	使用年数 A(※1)	28.0 年	小計		167	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	30	百万円	維持管理費 (※3)	0	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	30	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	30 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	大規模改修 パターン	18 /	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
を除く)	建替え パターン	314	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県教職員住宅管理計画
現在の利用状況	教職員住宅として利用
これまでの保全の 状況	H27に浴室改修。約900万円
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続 の理由	評価変更希望無し
上を裏付ける根拠 (ある場合)	

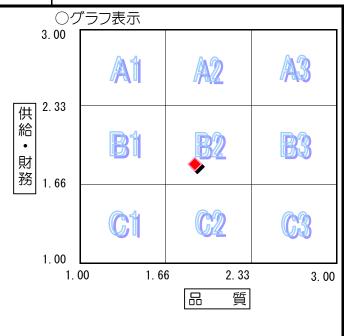
□総合評価 施設面: **改修** 運用面: **集約** 

補 他の施設との集約も含めて入居率の改善や不具合箇所の改善に努め、計画的な保全を適切に実施していく必要があ る施設。

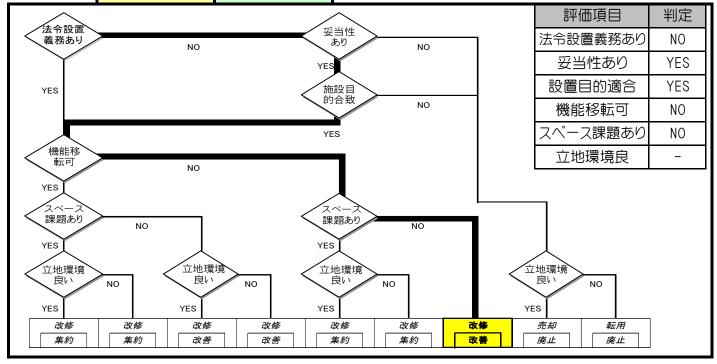
	施設番号 807099012001 施設名称 静岡中央高等学校				外部			
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱者	Ž	静岡中央高校		
	用途	教育施	嗀		設置年	1993		
基本	施設目的							
· 情 報	敷地面積	23,63	0.47 m <sup>*</sup>	延床	面積	14,284.6	0 m²	内部
拟	土地台帳価格	2,814	建物台帧	長価格	2,370,31	4 千円		
	用途地域	第2種住居専用	路線	.価	-	円/㎡		
	交通アクセス	最寄り駅:静岡駅から						
	文地バグでへ	バス25分						

## ◆第1段階 B2 品質 1.95点 供給·財務 1.83点

7	. · ·	~FH				.,	/ / / / / / /
	○主	:な内訳			(括弧	ふ内は	編差値)
	品質	建築後経済	<b>過年数</b>	2	23.0年	Ξ	2.00点
	品質	質 質 理 設備劣化度 設備劣化度 津波性能 エネルギー/面積 恰 面積/人数 と 生徒充 合 入学試験	屋上防	水	1993	.0年	1.00点
	品質	连架为化反	外壁		2008	.2年	3.00点
	品質	≕⊯少ル帝	空気調和	設備	1993	.0年	1.00点
	品質	政佣为化反	受変電調	设備	1993	.0年	1.00点
	品質	津波性能	3.00点	耐	震性	能	3.00点
	品質	エネルギー/面積	0.	31GJ	(57.	.48)	3.00点
	供給	面積/人数	6.	87 m <sup>2</sup>	(40	.17)	2.00点
	供給	生徒充足	<b>E</b> 率		41	.92%	1.00点
	供給	入学試験	倍率		0	.3倍	1.00点
	財務	コスト/人	171,3	93円	(44	.57)	3.00点
	財務	コスト/面積	1,5	00円	(42	.11)	3.00点



## ◆第2段階<mark>施設面: 改修</mark>運用面: 改善



#### □コスト推計

主な投資コスト(建設時から現在ま	建設費	4,227	百万円 百万円	持管理費 B(※2)	137	百万円
で)	使用年数 A(※1)	23.0 年	小計		4,364	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	459	百万円	維持管理費 (※3)	59	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	519	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	計画保全 パターン	459 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修 パターン	3 HUI	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替え パターン		今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を下回り、各学年8クラスの中規模の定時制・通信制高校である。
これまでの保全の 状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。ただし、玄関周辺に地盤沈下等の影響により劣化が見られる。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価

施設面: 改修

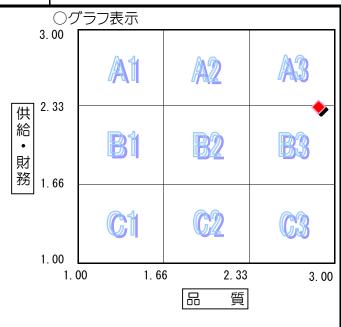
運用面: 改善

<sup>佣</sup> 施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

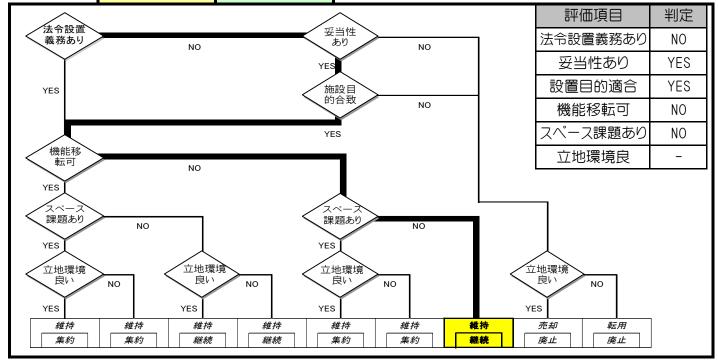
	施設番号	807100012001	施設名称		浜	松大平台高等学校	外部
	財産管理者	教育委員会財産		事務取扱者	Á		
	用途	教育施	設置年 2006				
基本	施設目的	高等学校					
· 情 報	敷地面積	64,847.39 m²		延床面積		19,079.03 m²	内部
拟	<b>土地台帳価格</b> 3,099,705 千円				建物台帳価格 2,231,320 千円		
	用途地域	第2種住居専用	地域	<b>路線価</b> - 円/m			mi F
	交通アクセス	最寄り駅:高塚駅か	6				
	文地アグピス	徒歩30分					

### ◆第 1 段階 A3 品質 3.00点 供給•財務 2.33点

_	J 1 F	APE .	00,	,,,,		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	3 3/3	
	○主	な内訳		内は	偏差値	直)		
	品質	建築後経過	<b>過年数</b>	1	0.0年		3.00	点
	品質	建築劣化度	屋上防	水	2006.0年		3.00	点
	品質	连架为汇反	外壁		2006	.0年	3.00	点
	品質	設備劣化度	空気調和	設備	2006	.0年	3.00	点
	品質	过伸力 化皮	受変電調	设備	<b>1</b> 2006.0		3.00	点
	品質	津波性能	3.00点	耐	震性能		3.00	点
	品質	エネルギー/面積	0.3	34GJ	GJ (56.55)		3.00	点
	供給	面積/人数	19.	08 m (48		36)	3.00	点
	供給	生徒充足	<b>E</b> 率		98.	.04%	3.00	点
	供給	入学試験	倍率		1	.2倍	2.00	点
	財務	コスト/人	346,5	42円	(47.	76)	2.00	点
	財務	コスト/面積	2,3	07円	(43.	26)	3.00	点



## ◆第2段階<mark>施設面: 維持</mark>運用面: 継続



#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	2,657	番 百万円	持管理費 B(※2)	206	百万円
	使用年数 A(※1)	10.0 年	小計		2,863	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	614	百万円	維持管理費 (※3)	206	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	820	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス・ ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	計画保全 パターン	614 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修 パターン	/1 1 / 8	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替え パターン		今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年4クラスの小規模総合高校である。 定時制が設置されている。
これまでの保全の 状況	築後10年以内であり、概ね良好な保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価

施設面: 維持

運用面: 継続

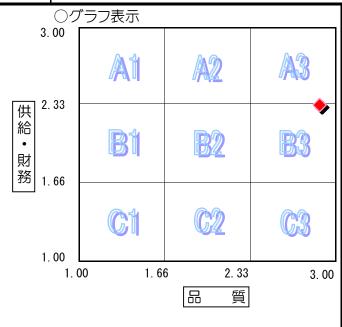
補

施設の状態及び利用状況も良好であるため、引き続き適正に管理していく施設。

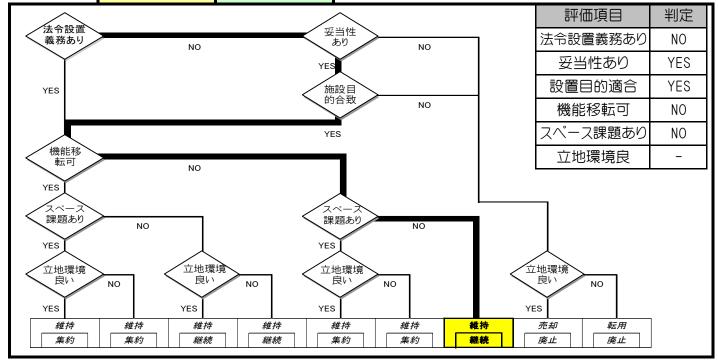
	施設番号	807101012001	施設名	称		科与	学技術高等学校		外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱	及者		科学技術高校		
	用途	教育施	嗀	設置年 200			2008		
基本	施設目的	高等学校							
情 報	敷地面積	54,93	8.97 m <sup>*</sup>	延床	下面積		26,2	45.75 m <sup>2</sup>	内部
拟	土地台帳価格	6,10	31,111 千円	建物台	計帳価格		2,70	7,008 千円	
	用途地域 第1種住居専用地域 路線価 - 円/m						经营建		
	交通アクセス	最寄り駅:静岡鉄道	長沼駅か	5					
	文地アグピス	徒歩1分							

## ◆第1段階 A3 品質 3.00点 供給·財務 2.33点

_	J . F.	A P P	001		,,,,	.,	1110 713373	
	○主	:な内訳		(括弧内は偏差値)				
	品質	建築後経過	<b>過年数</b>		8.0年		3.00点	
	品質	建築劣化度	屋上防	水	2008	.0年	3.00点	
	品質	连架为汇反	外壁		2008	.0年	3.00点	
	品質	設備劣化度	空気調和	設備	2008	.0年	3.00点	
	品質	政/佣力/心反	受変電調	设備	2008	.0年	3.00点	
	品質	津波性能	3.00点	耐	震性能		3.00点	
	品質	エネルギー/面積	0.3	35GJ	(56.	.14)	3.00点	
	供給	面積/人数	23.	39 m²	(51.	25)	3.00点	
	供給	生徒充足	<b>E</b> 率		103	.89%	2.00点	
	供給	入学試験	倍率			1.1倍	2.00点	
	財務	コスト/人	191,032円		(44.	.93)	3.00点	
	財務	コスト/面積	1,1	06円 (41.5		55)	3.00点	
							•	



## ◆第2段階<mark>施設面: 維持</mark>運用面: 継続



#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在ま	建設費	3,121		持管理費 B(※2)	12	百万円
(建成時から現在よ	使用年数 A(※1)	8.0 年	小計		3,133	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	844	百万円	維持管理費 (※3)	16	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	860	百万円

#### ※3 B÷A×10年

パターン別コス ト試算の比較 (維持管理費	計画保全 パターン	844 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修 パターン	5 h / U	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
を除く)	建替え パターン		今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年9クラスの大規模の工業高校である。 定時制が設置されている。
これまでの保全の 状況	建物等について、概ね良好な保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価 Ř

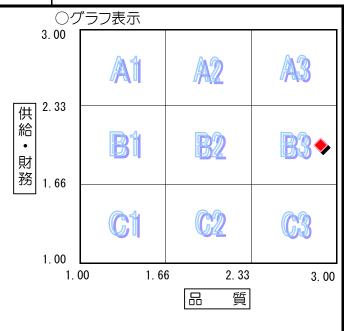
施設面: 維持 運用面: 継続

施設の状態及び利用状況も良好であるため、引き続き適正に管理していく施設。

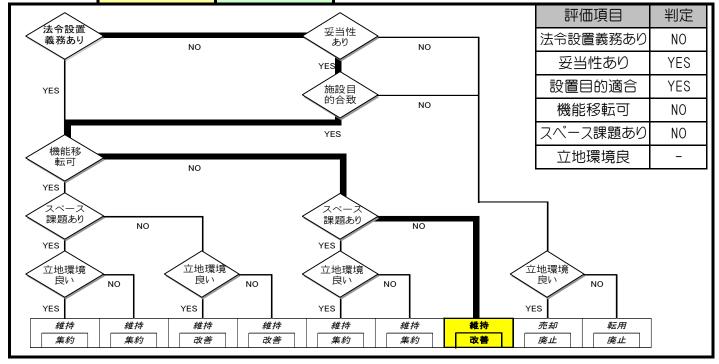
	施設番号	807102012002	施設名	称	Ξ	島長陵高等学校		外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱者		三島長陵高校		
	用途	教育施	嗀		設置年	2008		
基本	施設目的	高等学校	<del></del>			YI TO THE REAL PROPERTY OF THE PARTY OF THE		
· 情 報	敷地面積	8,13	6.32 m <sup>‡</sup>	延床面	積	11,541.82	m²	内部
拟	土地台帳価格	1,082	2,712 千円	建物台帕	<b>極格</b>	1,441,626	千円	
	用途地域	第2種住居専用	地域	路線	価	_	円/㎡	
	交通アクセス	最寄り駅:三島駅か	6					
	文地アグピス	徒歩5分						

## ◆第1段階 B3 品質 3.00点 供給·財務 2.00点

_	. T.	APH			,,,,	.,	*** / *********************************	
	○主	:な内訳		(括弧内は偏差値)				
	品質	建築後経過	<b>過年数</b>		8.0年		3.00点	
	品質	建築劣化度	屋上防	水	2008	.0年	3.00点	
	品質	连架为汇反	外壁		2008	.0年	3.00点	
	品質	設備劣化度	空気調和	設備	2008	.0年	3.00点	
	品質	议佣力记尽	受変電調	设備	2008	.0年	3.00点	
	品質	津波性能	3.00点	耐	震性能		3.00点	
	品質	エネルギー/面積	0.	21GJ	(60.	20)	3.00点	
	供給	面積/人数	22.4	45 m²	(50.	62)	3.00点	
	供給	生徒充足	:徒充足率     学試験倍率     /人   188,838円		64	.25%	1.00点	
	供給	入学試験			0.8倍		1.00点	
	財務	コスト/人			(44.	.89)	3.00点	
	財務	コスト/面積	1,1	13円 (41.55)		55)	3.00点	



## ◆第2段階<mark>施設面: 維持</mark>運用面: 改善



#### □コスト推計

主な投資コスト(建設時から現在ま	建設費	1,732	百万円	維持管理費 B(※2)	42	百万円
で)	使用年数 A(※1)	8.0 年	小計		1,774	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	371	百万円	維持管理費 (※3)	52	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	423	百万円

#### ※3 B÷A×10年

パターン別コス ト試算の比較 (維持管理費	計画保全 パターン	371 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修 パターン	2 /IU/	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
を除く) 	建替え パターン		今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を下回り、各学年8クラスの中規模の定時制高校である。 静岡中央高等学校の昼間定時制が併設されている。
これまでの保全の 状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価

施設面: 維持

運用面: 改善

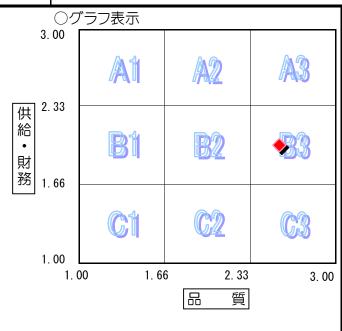
佣

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設。

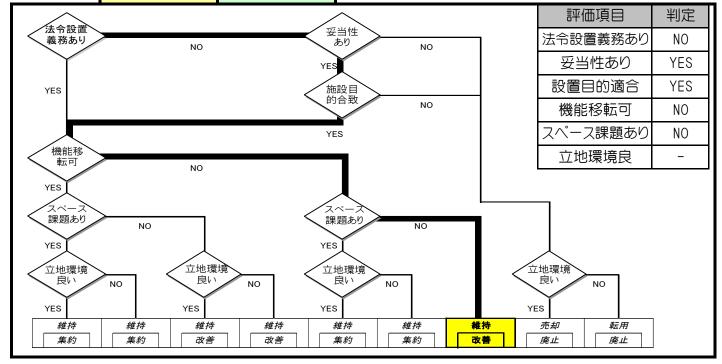
	施設番号	807103012001	施設名	称	伊	可		外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱	<b>当</b>	伊豆総合高校		
	用途	教育施	設		設置年	2009		
基本	施設目的	高等学校						
· 情 報	敷地面積	90,06	31.40 m <sup>‡</sup>	延床	面積	14,576.9	1 m²	内部
拟	土地台帳価格	2,359	,557 千円	建物台位	<b>張価格</b>	1,938,493	3 千円	
	用途地域	指定なし		路紡	?価	-	円/㎡	
	□▽ⅰ角アクセス□	最寄り駅:修善寺駅 徒歩15分	から		•			

### ◆第1段階 B3 品質 2.66点 供給•財務 2.00点

_	<b>.</b> . 1.	∧rH						
	○主	な内訳			(括弧	内は	偏差値	)
	品質	建築後経過	<b>過年数</b>	1	0.6年		2.81点	ź.
	品質	建築劣化度	屋上防	水	2005	.4年	2.62点	ź
	品質	连架为汇反	外壁		2005	.4年	2.62	ź
	品質	設備劣化度	空気調和	設備	2005	.4年	2.62	ź
	品質	过	受変電調	设備	備 2005.4年		2.62点	ř
	品質	津波性能	3.00点	耐	付震性能		3.00븟	Ϋ́
	品質	エネルギー/面積	0.	85GJ	(41.	74)	1.00点	Ϊ.
	供給	面積/人数	22.	22 m²	(50.	46)	3.00点	Ϋ́
	供給	生徒充足	<b>尼</b> 率		9	1.11%	1.00点	Ĭ.
	供給	入学試験	倍率		1	1.1倍	2.00点	ź
	財務	コスト/人	284,5	81円	(46.	63)	2.00爿	ź
	財務	コスト/面積	1,8	16円	(42.	56)	3.00븟	ź



## ◆第2段階<mark>施設面: 維持</mark>運用面: 改善



#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在ま	建設費	2,481		持管理費 B(※2)	62	百万円
(建設時から現在よ	使用年数 A(※1)	10.6 年	小計		2,543	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	469	百万円	維持管理費 (※3)	59	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	528	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	469 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	大規模改修 パターン	3 15/1	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿 命化を図っていく。
を除く)	建替え パターン		今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年6クラスの中規模の総合高校である。
これまでの保全の 状況	建物については、概ね良好な保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価

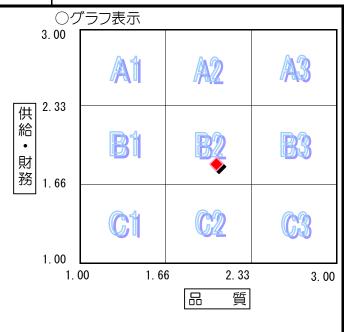
施設面: 維持 運用面: 改善

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設。

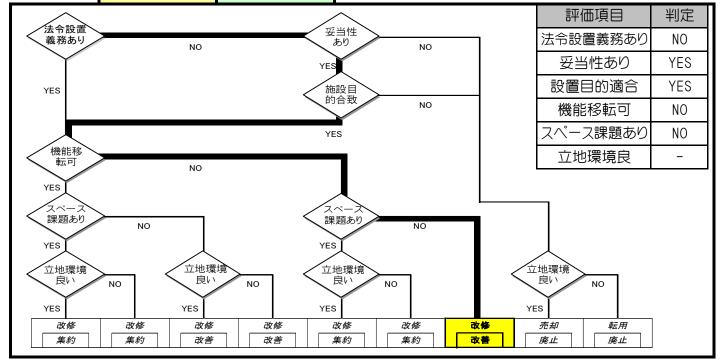
	施設番号	807104012026	2026 施設名称		外部		
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱者		駿河総合高等学校	
	用途	教育施	設	i	設置年	1991	
基本	施設目的	高等学校					
· 情 報	敷地面積	33,72	8.80 m <sup>2</sup>	延床面	積	19,065.79 r	
拟	土地台帳価格	5,589	,344 千円	建物台帕	<b>長価格</b>	2,286,351 =	
	用途地域	第2種住居専用	地域	路線	価		]/m
	交通アクセス	最寄り駅:静岡駅か	6				A SOL
	文地/ノビハ	バス20分					

### ◆第 1 段階 B2 品質 2.13点 供給·財務 1.83点

_		A F H	'				
	○主	な内訳			(括弧	内は	偏差値)
	品質	建築後経過	<b>過年数</b>	20.2年			2.32点
	品質	建築劣化度	屋上防	水	1999	.7年	1.79点
	品質	连架为汇反	外壁		2004	.4年	2.27点
	品質	設備劣化度	空気調和	設備	2000	.5年	1.93点
	品質	可用力化皮	受変電調	设備	1991.	0年	0.35点
	品質	津波性能	3.00点	耐	震性能		3.00点
	品質	エネルギー/面積	0.3	36GJ	(56.	00)	3.00点
	供給	面積/人数	22.4	46m (50.6		62)	3.00点
	供給	生徒充足	已率		101.	.07%	3.00点
	供給	入学試験	倍率		1.	.2倍	2.00点
	財務	コスト/人	9,188,0	84円	(209	.04)	1.00点
	財務	コスト/面積	41,9	27円	(100	.00)	1.00点



## ◆第2段階<mark>施設面: 改修</mark>運用面: 改善



#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在ま	建設費	3,310		持管理費 B(※2)	170	百万円
(建成時から現在よ	使用年数 A(※1)	20.2 年	小計		3,480	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	613	百万円	維持管理費 (※3)	84	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	997	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	1,694	百万円

#### ※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	613 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費	大規模改修 パターン	// 1/5	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
を除く)	建替え パターン		今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年7クラスの中規模の総合高校である。 定時制が設置されている。
これまでの保全の 状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価

施設面: 改修

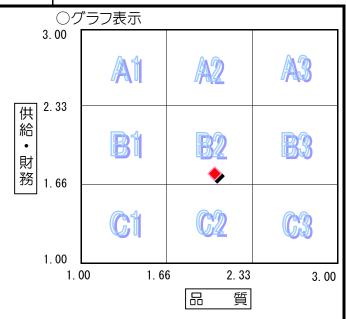
運用面: 改善

│ <sup>佣</sup> │ 施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

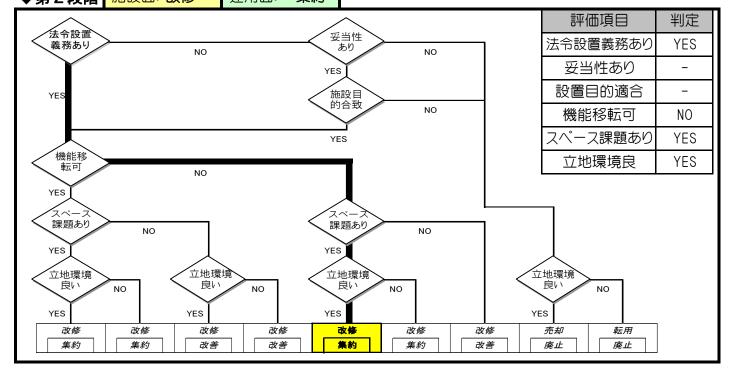
	施設番号	808001012001 施設名程		称	沼津視覚特別支援学校			外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱者	沼	津視覚特別支援学校		
	用途	教育施	嗀	設置年		2置年 1980		
基本	施設目的	特別支援学校						
情報	敷地面積	8,72	9.84 m <sup>*</sup>	延床面	ī積	4,565.85	m²	内部
拟	土地台帳価格	1,23	4,811 千円	建物台帳	価格	265,028	千円	
	用途地域	住居地域		路線	西	-	円/㎡	
	交通アクセス	最寄り駅:沼津駅か	6		<del>-</del>			
	又地アグピス	徒歩10分						

## ◆第1段階 B2 品質 2.11点 供給·財務 1.75点

○主	な内訳			(括弧内は偏差値)		
品質	建築後経過	<b>B</b> 年数	63	85.2年	2.08点	
品質	建筑少ル度	屋上防	水	1980.8年	1.08点	
品質	建架务化度	外壁		1986.4年	1.39点	
品質	シニュ シャップ シャン かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	空気調和	設備	2009.9年	2.77点	
品質	议(開力) 1.1.1之	受変電調	设備	1998.0年	2.00点	
品質	津波性能	3.00点	耐	震性能	3.00点	
品質	エネルギー/面積	0.2	26GJ	(58.75)	3.00点	
供給	面積/人数	415.	08 m²	(313.93)	1.00点	
供給	生徒充足	已率			-	
財務	コスト/人	239,3	99円	(45.81)	2.00点	
財務	コスト/面積	1,9	40円	(42.74)	3.00点	
	品品品品品供供財	品質   建築劣化度     品質   設備劣化度     品質   津波性能     品質   エネルギー/面積     供給   面積/人数     供給   生徒充気     財務   コスト/人	品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質に対します。   建築劣化度 空気調和受変電調品質に対して、     品質に対して、   主決ルギー/面積 のは、     供給面積/人数 415.0円     供給 生徒充足率     財務 コスト/人 239,35	品質 は築後経過年数   建築劣化度     品質 は築劣化度   屋上防水 外壁     品質 設備劣化度   空気調和設備 受変電設備     品質 津波性能 3.00点 耐品質 エネルギー/面積 の.26GJ供給 面積/人数 415.08㎡ 供給 生徒充足率     財務 コスト/人 239,399円	品質品質品質     建築劣化度     屋上防水     1980.8年       品質 品質 設備劣化度 品質 津波性能 3.00点 津波性能 3.00点 本質 エネルギー/面積 エネルギー/面積 0.26GJ (58.75)     耐震性能 3.08㎡ (313.93)       供給 面積/人数 生徒充足率 ー財務 コスト/人 239,399円 (45.81)	



# ◆**第2段階 施設面: 改修** 運用面: **集約**



#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	580	番 百万円	持管理費 B(※2)	70	百万円
	使用年数 A(※1)	35.2 年	小計		650	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	147	百万円	維持管理費 (※3)	20	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	776	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	943	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	<b>1</b> 47 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費	大規模改修 パターン	uxx	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿 命化を図っていく。
を除く)	建替え パターン		今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	幼児児童生徒数13人の視覚特別支援学校である。
これまでの保全の 状況	建物等については、概ね良好な保全状態であるが、鉄部においては、発錆が著しい状況である。
その他	静岡県東部地域の唯一の視覚特別支援学校であり、視覚障害者の教育機会を保障する観点から現 時点で廃止は予定なし

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

施設面: 改修

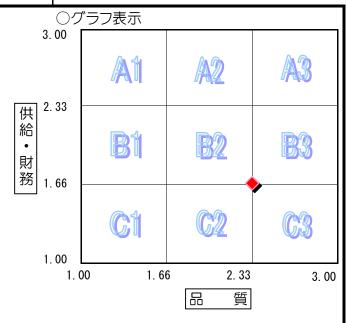
運用面: 集約

補 施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、スペースの活用に課題があるため、他の機能を取り込む等、集約を図る必足 要がある施設

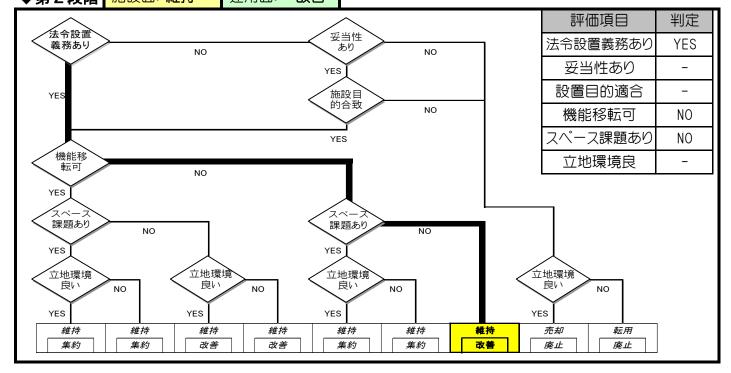
	施設番号	808002012001 施設名和		称	静岡視覚特別支援学校			外部	
	財産管理者	教育委員会	教育委員会財産		務取扱者 静岡視覚特別支援		<b>司視覚特別支援学校</b>		
	用途	教育施	設置年 1978						
基本	施設目的	特別支援学校							
情報	敷地面積	8,16	延床面積 4,587.36 m			m°	内部		
拟	土地台帳価格	1,481	建物台帳価格 252,354 円			千円			
	用途地域	準工業地域	或	<b>路線価</b> - 円/m			円/㎡		
	▽ⅰ角アクセス	最寄り駅:静岡鉄道 徒歩5分	柚木駅か	Э					

### ◆第1段階 B3 品質 2.42点 供給·財務 1.67点

ΟÌ	な内訳	(括弧内は偏差				
品質	建築後経過	<b>B</b> 年数		35.1年	2.15点	
品質	建築劣化度	屋上防	水	2007.1年	2.85点	
品質	<b>建杂为</b> 记反	外壁		2005.9年	2.54点	
品質	設備劣化度	空気調和	設備	2011.0年	2.85点	
品質	议	受変電詞	设備	1991.6年	1.78点	
品質	津波性能	3.00点	耐	震性能	3.00点	
品質	エネルギー/面積	0.3	39GJ	(55.15)	3.00点	
供給	面積/人数		1	-	-	
供給	生徒充足	<b>尼</b> 率		_	-	
財務	コスト/人	409,1	33円	(48.91)	2.00点	
財務	コスト/面積	4,1	92円	(45.96)	2.00点	



# ◆**第2段階 施設面: 維持** 運用面: **改善**



#### □コスト推計

主な投資コスト(建設時から現在ま	建設費	569	百万円	維持管理費 B(※2)	64	百万円
で)	使用年数 A(※1)	35.1 年	小計		633	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	148	百万円	維持管理費 (※3)	18	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	718	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	884	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	148 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	大規模改修 パターン	uux	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿 命化を図っていく。
を除く)	建替え パターン	1 0 2	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	幼児児童生徒数22人の視覚特別支援学校である。
これまでの保全の 状況	建物等について、概ね良好な保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

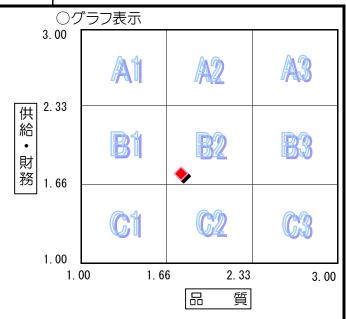
施設面: 維持 運用面: 改善

# 施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設

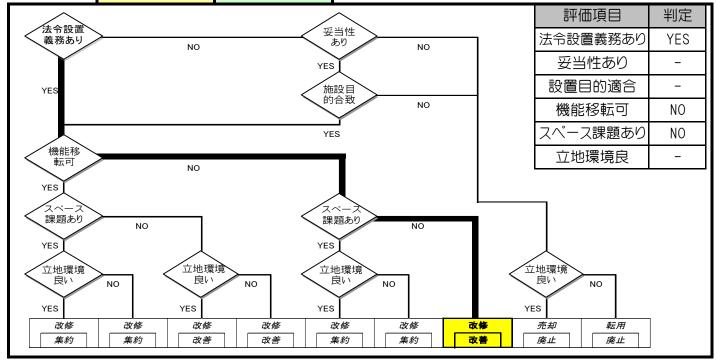
	施設番号	808003012001 施設名称			浜松	視覚特別支援学校		外部
	財産管理者	教育委員会	了 「 「 」 「 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」		浜松視覚特別支援学校			
	用途	教育施	教育施設		设置年	1976		
基本	施設目的	特別支援学校 						
情 報	敷地面積	18,973.39 ㎡ 延		延床面	積	8,224.96	m²	内部
拟	土地台帳価格	1,441	1,441,978 千円 建物台帳		価格	281,994	千円	
	用途地域	住居地域	<b>路線価</b> - 円/			円/㎡		
	交通アクセス	最寄り駅:浜松駅か	6		<u>-</u>			
	文地アグピス	バス40分						

### ◆第 1 段階 B2 品質 1.83点 供給·財務 1.75点

-	1.	A I H					
	○主	な内訳			(括弧	内は	編差値)
	品質	建築後経過	<b>過年数</b>	4	40.6年		1.61点
	品質	建築劣化度	屋上防	水	1994	.5年	1.82点
	品質	连来力记反	外壁		1986	.7年	1.57点
	品質	設備劣化度	空気調和	設備	没備 2002		2.01点
	品質	11月20日文	受変電調	设備	1995	.5年	1.11点
	品質	津波性能	3.00点	耐	震性能		3.00点
	品質	エネルギー/面積	0.3	30GJ	(57.	64)	3.00点
	供給	面積/人数	178.	178.80 m <sup>2</sup>		.48)	1.00点
	供給	生徒充足	三率			-	-
	財務	コスト/人	241,9	14円	(45.	(88	2.00点
	財務	コスト/面積	2,0	59円	(42	.91)	3.00点



## ◆第2段階<mark>施設面: 改修</mark>運用面: 改善



#### □コスト推計

主な投資コスト(建設時から現在ま	建設費	491		持管理費 B(※2)	169	百万円
で)	使用年数 A(※1)	40.6 年	小計		660	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	265	百万円	維持管理費 (※3)	42	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	1,019	百万円	建替え経費	553	百万円
	解体費	38	百万円	小計	1,916	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	265 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	大規模改修 パターン	1 / 811	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
を除く)	建替え パターン	/ Un/	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	幼児児童生徒数43人の視覚特別支援学校である。
これまでの保全の 状況	建物等について、概ね良好な保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

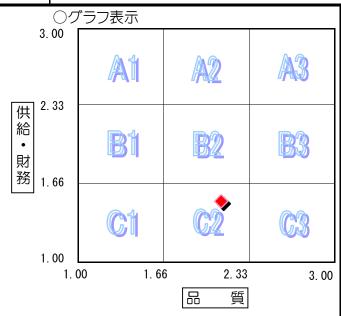
施設面: 改修 運用面: 改善

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

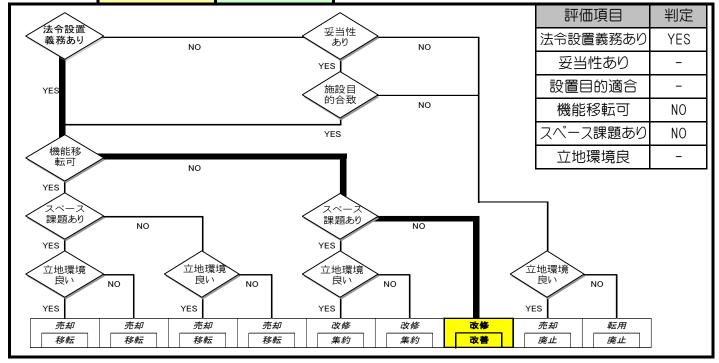
	施設番号	808004012001 施設名		称	沼津聴覚特別支援学校			外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱者	沼	津聴覚特別支援学校		
	用途	教育施	教育施設		設置年 1979			
基本	施設目的	特別支援学校						
· 情 報	敷地面積	11,30	16.30 m <sup>‡</sup>	延床面	積	5,953.34	m²	内部
拟	土地台帳価格	1,48	1,125 千円	建物台帕	価格	283,618	千円	
	用途地域	第2種住居専用	地域	路線	価	-	円/㎡	
	交通アクセス	最寄り駅:沼津駅か	6					
	文地バグでへ	徒歩12分						

## ◆第1段階 C2 品質 2.19点 供給·財務 1.50点

○主	な内訳	編差値)			
品質	建築後経過	<b>過年数</b>	63	37.6年	1.63点
品質	建築劣化度	屋上防	水	2000.6年	2.30点
品質	<b>建采力</b> 记及	外壁		2010.4年	2.67点
品質	設備劣化度	空気調和	設備	2006.3年	2.08点
品質	议(開力) 1.1.1之	受変電設備		2012.0年	3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐	震性能	3.00点
品質	エネルギー/面積	0.1	25GJ	(59.16)	3.00点
供給	面積/人数	71.73 m <sup>2</sup>		(83.66)	1.00点
供給	生徒充足	<b>尼</b> 率		_	ı
財務	コスト/人	446,8	03円	(49.59)	2.00点
財務	コスト/面積	4,5	78円	(46.52)	2.00点



## ◆第2段階<mark>施設面: 改修</mark>運用面: 改善



#### □コスト推計

主な投資コスト(建設時から現在ま	建設費	487	百万円	維持管理費 B(※2)	53	百万円
(建設時が955年まで)	使用年数 A(※1)	37.6 年	小計		540	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	191	百万円	維持管理費 (※3)	14	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	1,000	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	1,205	百万円

#### ※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	191 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	大規模改修 パターン	1 /88	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
を除く)	建替え パターン	/ 1/1/1	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	幼児児童生徒数72人の聴覚特別支援学校である。
これまでの保全の 状況	建物の鉄部において、発錆が著しいが、建物等の保全状況については、概ね良好である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

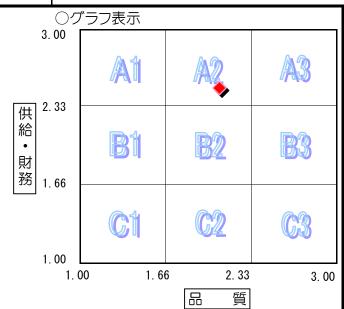
施設面: 改修 運用面: 改善

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

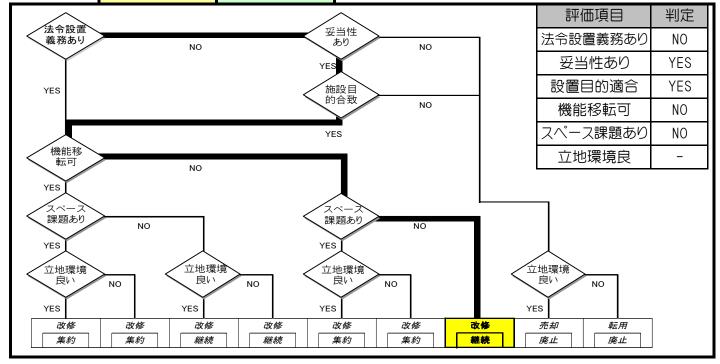
	施設番号	808004012002	施設名	称	沼津	聴覚特別支援学校寄宿舎	<u>&gt;</u>	外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱	者	沼津聴覚特別支援学校		
	用途	職員住	宅		設置年	1971		61.00
基本	施設目的	 特別支援学校寄宿 	舎					
情報	敷地面積	2,89	96.38 m <sup>*</sup>	延床	面積	1,809.5	5 m²	内部
拟	土地台帳価格	34	1,773 千円	建物台	帳価格	67,23	2 千円	
	用途地域	第2種住居専用	地域	路網	<b>遠</b> 価	-	円/㎡	a p
	交通アクセス	最寄り駅:沼津駅か	6					
	文地アグピス	徒歩15分						

## ◆第1段階 A2 品質 2.16点 供給•財務 2.50点

_	77 1 17 10			,		,,,,,		11- 710-570
	○主	な内訳				(括弧	1人内は	編差値)
	品質	建築後	径)	<b>過年数</b>	4	13.0年	Ξ	1.28点
	品質	建築劣化	<del>+</del>	屋上防	水	2009	.0年	2.72点
	品質	建梁为16/	豆	外壁		2014	.0年	3.00点
	品質	設備劣化度		空気調和	2006	.3年	3.00点	
	品質	政制力 16/	又	受変電調	2013	.0年	3.00点	
	品質	津波性能	רונו	3.00点	耐震性能		能	3.00点
	品質	エネルギー/面	磧	0.4	0.46GJ		-	-
	供給 面積/人数			-		-	-	
	供給	入居率	•入	、所率			-	-
	財務	コスト/面積	責	2,3	42円	(43	.32)	3.00点



## ◆第2段階<mark>施設面: 改修</mark>運用面: **継続**



#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在ま	建設費	221		持管理費 B(※2)	27	百万円
で)	使用年数 A(※1)	43.0 年	小計		248	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	57	百万円	維持管理費 (※3)	6	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	85	百万円	建替え経費	363	百万円
	解体費	38	百万円	小計	549	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	57 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	大規模改修 パターン	3011	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿 命化を図っていく。
を味く)	建替え パターン		今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	沼津聴覚支援学校の児童生徒が利用する寄宿舎である。
これまでの保全の 状況	建物の鉄部において、発錆が著しいが、建物等の保全状況については、概ね良好である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続	評価変更希望無
の理由	継続・改修と判断しているが妥当
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価 施設面: **改修** 

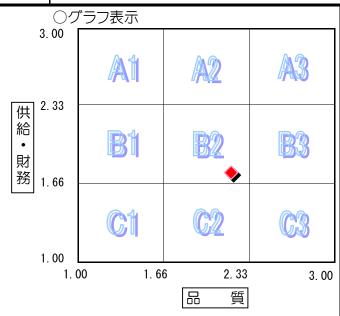
運用面: 継続

施設の不具合箇所の解消に努める必要がある施設。

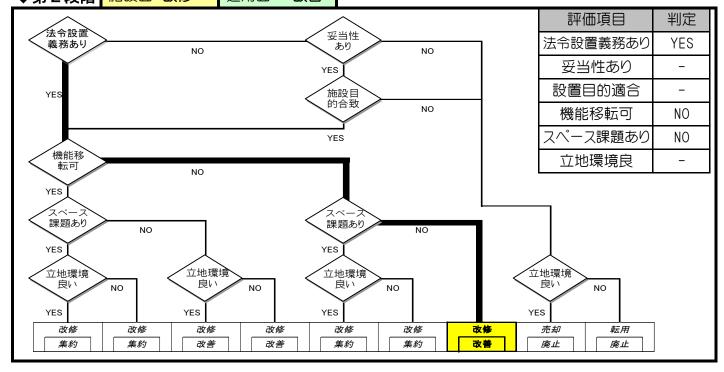
	施設番号	808005012001	施設名	·称	静岡	<b>间聴覚特別支援学校</b>	外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱者	<b>新</b>	<b>角岡聴覚特別支援学校</b>	
	用途	教育施	灵		設置年	1978	
基本	施設目的	特別支援学校					
情報	敷地面積	11,26	0.75 m <sup>‡</sup>	延床面	面積	3,113.25 r	m <sup>*</sup> 内部
拟	土地台帳価格	1,37	3,811 千円	建物台帕	長価格	90,220 =	千円
	用途地域	準工業地域	或	路線	価	— р	9/m
	交通アクセス	最寄り駅:静岡駅か	6	-			
	文地アグピス	バス15分					

# ◆**第1段階** B2 品質 2.27点 供給•財務 1.75点

-		NIA.						
	○主	な内訳			(括弧内は偏差値)			
	品質	建築後経	過年数	過年数 3			2.00点	
	品質	建築劣化度	屋上防	屋上防水		年	1.94点	
	品質	<b>建架为</b> 记反	外壁	外壁			2.68点	
	品質	設備劣化度	空気調和	空気調和設備		年	1.58点	
	品質	可帰力化皮	受変電調	受変電設備			3.00点	
	品質	津波性能	3.00点	耐	耐震性能		3.00点	
	品質	エネルギー/面積	0.1	27GJ (58.36		3)	3.00点	
	供給	面積/人数	389.	16 m²	(74.8	1)	1.00点	
	供給	生徒充	足率			_	-	
	財務	コスト/人	287,9	25円	(46.70	))	2.00点	
	財務	コスト/面積	3,4	22円	(44.86	3)	3.00点	



# ◆**第2段階 施設面: 改修** 運用面: **改善**



#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在ま	建設費	272		持管理費 B(※2)	66	百万円
(建設時から現任まで)	使用年数 A(※1)	37.8 年	小計		338	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	100	百万円	維持管理費 (※3)	18	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	573	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	691	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	100 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	大規模改修 パターン	674 百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替え パターン	1,121 百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	幼児児童生徒数22人の聴覚特別支援学校である。
これまでの保全の 状況	建物等について、概ね良好な保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

施設面: **改修** 運用

運用面: 改善

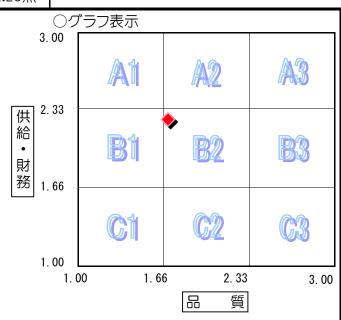
補力

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

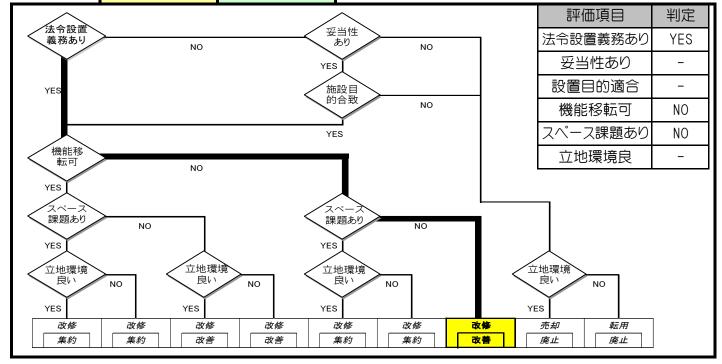
	施設番号	808006012001	施設名	称	浜	松聴覚特別支援学校	外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱者	首	浜松聴覚特別支援学校	
	用途	教育施	嗀		設置年	1971	
基本	施設目的	特別支援学校					
情報	敷地面積	20,49	91.77 m <sup>‡</sup>	延床面	<b></b> 面積	4,725.65 r	n <sup>†</sup> 内部
拟	土地台帳価格	1,750	3,510 千円	建物台帕	長価格	78,380 <del> </del>	-H
	用途地域	第1種住居専用	地域	路線	:価	59,900 ⊏	/m
	交通アクセス	最寄り駅:浜松駅か	6				
	文地アグピス	バス20分					

### ◆**第 1 段階** B2 品質 1.74点 供給•財務 2.25点

○主な内訳(括弧内は偏差値品質建築後経過年数43.4年1.19	点
,3,1,2,1,2,1,2,1,2,1,2,1,2,1,2,1,2,1,2,1	
	_
<b>温質</b> 建築劣化度 <b>屋上防水</b> 1997.3年 1.94	点
<u>品質</u>	点
<b>品質</b>	点
<b>品質</b> 受変電設備 1999.0年 1.36	点
<b>品質</b> 津波性能 3.00点 耐震性能 3.00	点
品質 エネルギー/面積 0.33GJ (56.70) 3.00	点
供給 面積/人数 71.60㎡ (48.84) 3.00	点
供給 生徒充足率	
財務 コスト/人 233,266円 (45.70) 2.00	点
財務 コスト/面積 2,863円 (44.06) 3.00	点



## ◆第2段階<mark>施設面: 改修</mark>運用面: 改善



#### □コスト推計

主な投資コスト(建設時から現在ま	建設費	296	百万円	維持管理費 B(※2)	63	百万円
(建設時から現仕ま   で) 	使用年数 A(※1)	43.4 年	小計		359	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	152	百万円	維持管理費 (※3)	15	百万円
	大規模改修費	164	百万円	建替え経費	1,178	百万円
	解体費	81	百万円	小計	1,589	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス ト試算の比較 (維持管理費	計画保全 パターン	152 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修 パターン	1,022 百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿 命化を図っていく。
を除く)	建替え パターン	1,702 百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿 命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	幼児児童生徒数56人の聴覚特別支援学校である。
これまでの保全の 状況	建物等について、概ね良好な保全状態である。石積み擁壁において、水抜き未設置の状況である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

施設面: 改修

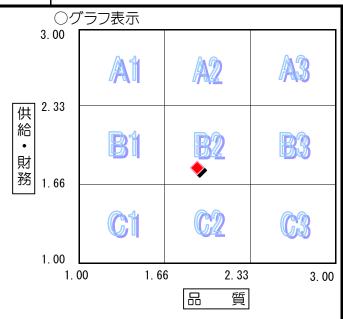
運用面: 改善

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

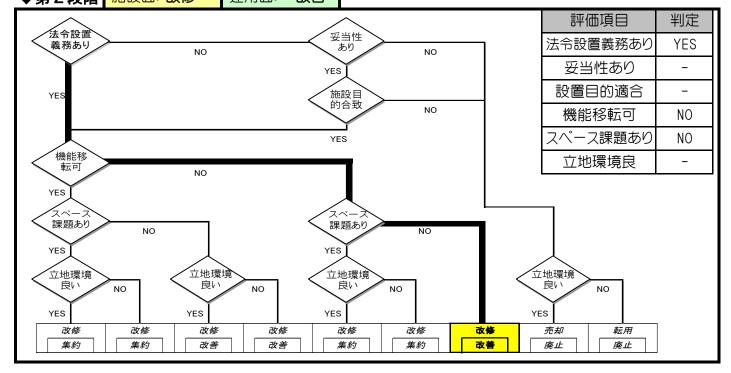
	施設番号	808007012001	施設名称				外部	
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱者	Ť	沼津特別支援学校		
	用途 教育施設 設置年 1979							
基本	施設目的	特別支援学校						
情報	敷地面積	18,08	3.69 m <sup>‡</sup>	延床面	積	6,083.84	m²	内部
郑	土地台帳価格	1,299	,442 千円	建物台帕	<b>長価格</b>	261,527	千円	
	用途地域	指定なし		路線	価	_	円/㎡	
	交通アクセス	最寄り駅:原駅から		-			•	
	文地アグピス	徒歩25分						

### ◆第 1 段階 B2 品質 1.98点 供給·財務 1.80点

J 1 F.	APA	00)( 11= -)(((				(110 /(33)3
○主	な内訳		(括弧内は偏差値)			
品質	建築後経過	<b>過年数</b>	<b>過年数</b> 3		Ξ	2.00点
品質	建筑少ル帝	屋上防	水	1991.9年		1.09点
品質	连架为汇反	外壁		1986	.7年	1.43点
品質	シニュ シャップ シェア シャン シェン かんしゅう かんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅん しゅん	空気調和	設備	2008	.8年	2.77点
品質	过伸力 化皮	受変電調	1980	.4年	1.00点	
品質	津波性能	3.00点	耐	震性能		3.00点
品質	エネルギー/面積	0.3	30GJ	(57	.62)	3.00点
供給	面積/人数	28.	28.43 m²		.31)	3.00点
供給	生徒充足	<b>尼</b> 率		149	9.11%	1.00点
財務	コスト/人	375,2	79円	(48	.29)	2.00点
財務	コスト/面積	8,5	74円	(52	.24)	2.00点
	会品品品品品供供助 主質質質質質質質給給務	○主な内訳       品質     建築後経過       品質     建築劣化度       品質     設備劣化度       品質     津波性能       品質     エネルギー/面積       供給     生徒充足       財務     コスト/人	・主な内訳     品質   建築後経過年数     品質   建築劣化度   屋上防外壁空気調和受変電調     品質   津波性能   3.00点     品質   エネルギー/面積   0.3     供給   生徒充足率     財務   コスト/人   375,2	主な内訳       品質     建築後経過年数     3       屋上防水 外壁       中間       品質     設備劣化度     空気調和設備       品質     津波性能     3.00点     耐       品質     エネルギー/面積     0.30GJ       供給     生徒充足率       財務     コスト/人     375,279円	主な内訳     括別       建築後経過年数     35.6年       屋上防水 1991       外壁 1986       空気調和設備 2008       受変電設備 1980       品質 津波性能 3.00点 耐震性       品質 エネルギー/面積 0.30GJ (57年)       供給 面積/人数 28.43㎡ (45年)       供給 生徒充足率 14年       財務 コスト/人 375,279円 (48年)	主な内訳     (括弧内は ままま)       建築後経過年数 35.6年       屋上防水 1991.9年       外壁 1986.7年       空気調和設備 2008.8年       受変電設備 1980.4年       出質 エネルギー/面積 0.30GJ (57.62)       供給 面積/人数 28.43㎡ (45.31)       供給 生徒充足率 149.11%       財務 コスト/人 375,279円 (48.29)



# ◆**第2段階 施設面: 改修** 運用面: **改善**



#### □コスト推計

主な投資コスト(建設時から現在ま	建設費	628	相 百万円	持管理費 B(※2)	66	百万円
(建成時から現在な	使用年数 A(※1)	35.6 年	小計		694	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	196	百万円	維持管理費 (※3)	18	百万円
	大規模改修費	1,121	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	1,335	百万円

#### ※3 B÷A×10年

パターン別コス・ ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	計画保全 パターン	196 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修 パターン	1 3 16	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿 命化を図っていく。
	建替え パターン		今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数350人の特別支援学校(知的障害)である。 (施設規模人数:224名)
これまでの保全の 状況	建物等については、概ね良好な保全状況であるが、渡り廊下等において鉄部の発錆が著しい状況である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

施設面: 改修

運用面: 改善

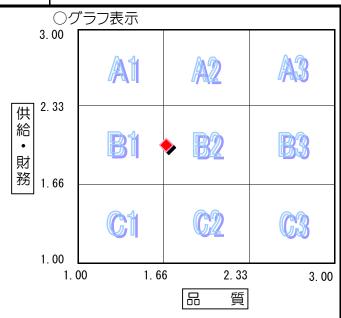
補

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

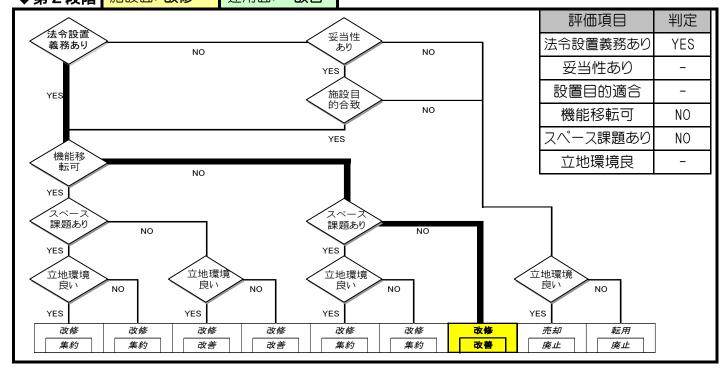
	施設番号	808008012001 施設名称 静岡北特別支援学校					外部	
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱	者	静岡北特別支援学校		The Paris
	用途	教育施	設		設置年	1976		A STATE OF THE STA
基本	施設目的	特別支援学校						
· 情 報	敷地面積		0.00 m²	延床	面積	6,133.24	m²	内部
拟	土地台帳価格		0 千円	建物台	帳価格	153,173	千円	
	用途地域	指定なし		路線	泉価	-	円/㎡	
	交通アクセス	最寄り駅:JR静岡駅 バス32分 徒歩8分			•			

### ◆**第1段階** B2 品質 1.73点 供給•財務 2.00点

○主な内訳 (括弧内				(括弧内は	編差値)
品質	建築後経過年数		4	10.7年	1.47点
品質	建築劣化度	屋上防	水	1998.4年	1.59点
品質		外壁		1985.2年	1.08点
品質	設備劣化度	空気調和	設備	2007.9年	2.47点
品質	过	受変電調	设備	1975.3年	1.00点
品質	津波性能	3.00点 耐		震性能	3.00点
品質	エネルギー/面積	ī積 0.37GJ		(55.68)	3.00点
供給	面積/人数	16.	94m <sup>2</sup> (44.38)		2.00点
供給	生徒充足			146.15%	1.00点
財務	コスト/人			(43.52)	3.00点
財務	コスト/面積			(44.13)	3.00点



# ◆**第2段階 施設面: 改修** 運用面: **改善**



#### □コスト推計

注(建)	主な投資コスト 建設時から現在ま	建設費	388	百万円	維持管理費 B(※2)	73	百万円
	で)	使用年数 A(※1)	40.7 年	小計		461	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	197	百万円	維持管理費 (※3)	18	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	1,130	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	1,345	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	197 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	大規模改修 パターン	1 3 / /	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
で味()	建替え パターン	/ /IIV	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数360人の特別支援学校(知的障害)である。 (施設規模人数:260名)
これまでの保全の 状況	建物等の内装については、概ね良好な保全状態であるが、外壁には多数のクラック、鉄部には発錆びが著しい状況である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

施設面: 改修

運用面: 改善

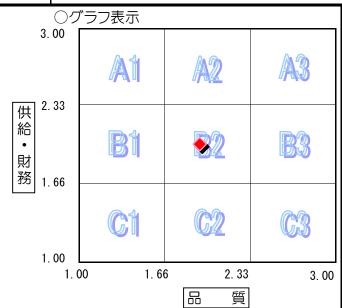
補

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

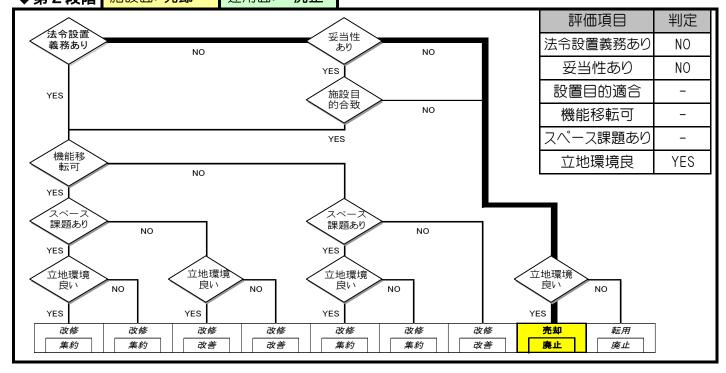
	施設番号	808008013001 施設名				外部			
	財産管理者	教育委員会財		<b>İ</b> 產事務取扱者		静	静岡北特別支援学校		B
	用途	職員住	設置年 1979						
基本	施設目的	教職員住宅 							
· 情 報	敷地面積	99	延床面積			69	1.97 m <sup>‡</sup>	内部	
拟	土地台帳価格	132	建物台	台帳価格		34	,172 千円		
	用途地域	第2種住居専用	<b>路線価</b> - 円/㎡						
	交通アクセス	最寄り駅:JR静岡駅	?から						
	文地アグピス	バス22分 徒歩3分	}						

## ◆第1段階 B2 品質 2.00点 供給·財務 2.00点

○主	な内訳			(括弧内は	偏差値)
品質	建築後経過	<b>過年数</b>	3	88.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防	水	1978.0年	1.00点
品質	连来力记反	外壁		2014.0年	3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備		_	_
品質	过	受変電調	殳備	1979.0年	1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐	震性能	3.00点
品質	エネルギー/面積		-	_	-
供給	面積/人数		-	_	-
供給	入居率•入	、所率		50.0%	1.00点
財務	コスト/面積		51円	(40.03)	3.00点
		•		•	



# ◆**第2段階 施設面: 売却** 運用面: **廃**止



	ス	ト掛計

主な投資コスト (建設時から現在ま	建設費	85	百万円 百万円	推持管理費 B(※2)	1	百万円
(建設時から現在よで)	使用年数 A(※1)	38.0 年	小計		86	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	11	百万円	維持管理費 (※3)	0	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	11	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	22 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	大規模改修 パターン	138 百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿 命化を図っていく。
(1)	建替え パターン	235 百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県教職員住宅管理計画
現在の利用状況	教職員住宅として利用
これまでの保全の 状況	
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無し
上を裏付ける根拠 (ある場合)	

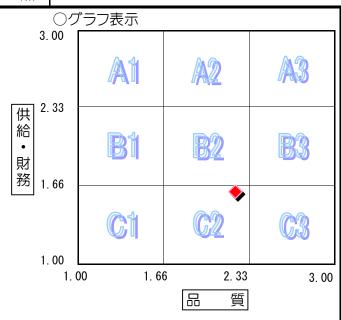
□総合評価 施設面: **売却** 運用面: **廃止** 

現行計画に沿って廃止・売却を進めていく施設。

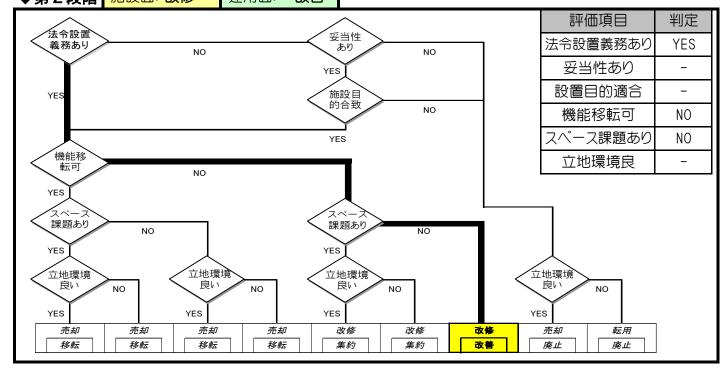
	施設番号	808009012001	称	浜		外部		
	財産管理者	教育委員会財産		事務取扱者	事務取扱者 浜松特別支援			
	用途	教育施	設置年 1979					
基本	施設目的	特別支援学校						
情 報	敷地面積	16,5	51.18 m <sup>‡</sup>	延床面	積	6,422.49	m²	内部
拟	土地台帳価格	265	建物台帳価格 264,512 千月			千円		
	用途地域	指定なし		路線	西	-	円/㎡	
	交通アクセス	最寄り駅:浜松駅から バス20分						

### ◆第 1 段階 C2 品質 2.31点 供給・財務 1.60点

〇主	な内訳			(括弧内は	編差値)
品質	建築後経過	<b>過年数</b>	63	37.2年	2.00点
品質	建筑少ル度	屋上防	水	1997.3年	1.96点
品質	<b>建杂为</b> 记反	外壁		1995.5年	1.88点
品質	シニュ かんり はっぱい かんしゅう かんしゅ はまれる しゅんしゅう かんしゅう かんしゅ しゅんしゅう かんしゅ しゅんしゅ しゅん しゅん しゅん しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅん しゅんしゅ しゅん しゅん	空気調和	設備	2012.8年	2.77点
品質	过	受変電調	设備	2013.0年	3.00点
品質	津波性能	2.91点	耐	震性能	3.00点
品質	エネルギー/面積	0.2	29GJ	(57.79)	3.00点
供給	面積/人数	21.	77 m²	(44.77)	2.00点
供給	生徒充足	2率		146.88%	1.00点
財務	コスト/人	215,8	50円	(45.38)	2.00点
財務	コスト/面積	4,4	36円	(46.31)	2.00点
	品品品品品品供供財	品質   建築劣化度     品質   設備劣化度     品質   津波性能     品質   エネルギー/面積     供給   面積/人数     供給   生徒充気     財務   コスト/人	品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質 津波性能 2.91点品質 エネルギー/面積 0.8     出質 本ルギー/面積 の.8     供給 面積/人数 21.     供給 生徒充足率     財務 コスト/人 215,8	品質 はいます。   建築後経過年数   3     品質 品質 品質 品質 品質 計算化度 日本 は は は は は ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	品質建築後経過年数37.2年品質建築劣化度屋上防水1997.3年品質決壁1995.5年品質空気調和設備2012.8年受変電設備2013.0年品質津波性能2.91点耐震性能品質エネルギー/面積0.29GJ(57.79)供給面積/人数21.77㎡(44.77)供給生徒充足率146.88%財務コスト/人215,850円(45.38)



# ◆**第2段階 施設面: 改修** 運用面: **改善**



#### □コスト推計

主な投資コスト(建設時から現在を	建設費	515		持管理費 B(※2)	59	百万円
で)	使用年数 A(※1)	37.2 年	小計		574	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	103	百万円	維持管理費 (※3)	16	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	119	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	207 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	大規模改修 パターン	1 3 4 11 1	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
を除く)	建替え パターン	/ 313	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数339人の特別支援学校(知的障害)である。 (施設規模人数:224名)
これまでの保全の 状況	建物の内装について、概ね良好な保全状態であるが、外装において鉄部の発錆び及び鉄筋の爆裂が 多数見受けられる。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

施設面: 改修

運用面: 改善

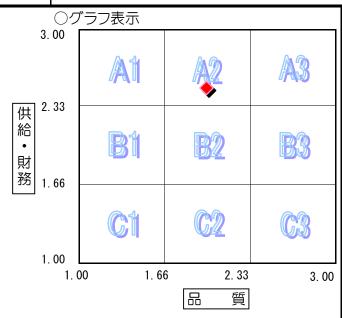
11日

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

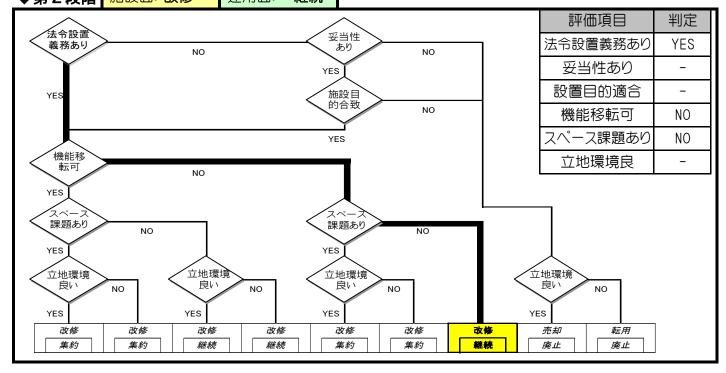
	施設番号	808009012002 施設名		祢	东			外部	
	財産管理者	教育委員会財産事		事務取扱	務取扱者 浜松特別支援学校				
	用途	用途教育施設			設置年 1981		1981		
基本	施設目的	特別支援学校							
情報	敷地面積		0.00 m <sup>2</sup>	延床	面積		1,516.89	m²	内部
拟	土地台帳価格		0 千円	建物台	帳価格		62,554	千円	
	用途地域	指定なし	路線価			円/mੈ			
	交通アクセス	最寄り駅:磐田駅か	6	-					
	文地アグピス	バス20分							

## ◆**第1段階** A2 品質 2.06点 供給•財務 2.50点

○主	な内訳	(括弧内は偏差値)				
品質	建築後経過	<b>過年数</b>	63	5.0年	2.00点	
品質	建築劣化度	屋上防	水	1995.0年	1.00点	
品質	连来力记反	外壁		1994.0年	1.00点	
品質	設備劣化度	空気調和	設備	2011.0年	3.00点	
品質	可用力化皮	受変電調	设備	-	1	
品質	津波性能	3.00点	耐	震性能	3.00点	
品質	エネルギー/面積	0.0	02GJ	(65.64)	3.00点	
供給	面積/人数	39.	92 m²	(46.25)	3.00点	
供給	生徒充足	<b>E</b> 率		_	ı	
財務	コスト/人	51,6	50円	(42.39)	3.00点	
財務	コスト/面積	7	83円	(41.08)	3.00点	



# ◆**第2段階 施設面: 改修** 運用面: **継続**



#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在ま	建設費	157		維持管理費 B(※2)		百万円
で)	使用年数 A(※1)	35.0 年	小計		193	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	49	百万円	維持管理費 (※3)	10	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	279	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	339	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	49 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	大規模改修 パターン	3/8	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿 命化を図っていく。
で味く)	建替え パターン	מוא	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数37人の施設併設の特別支援学校(知的障害)である。 ※土地は他所属管理の県有地
これまでの保全の 状況	校舎及び渡り廊下の鉄部において、発錆が著しいが、建物等の保全状況は、概ね良好である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

施設面: 改修

運用面: 継続

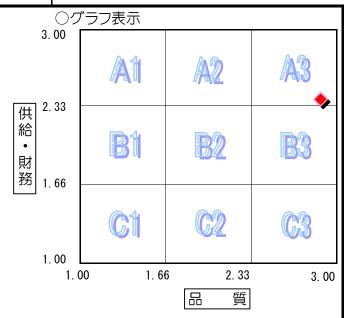
佣兄

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

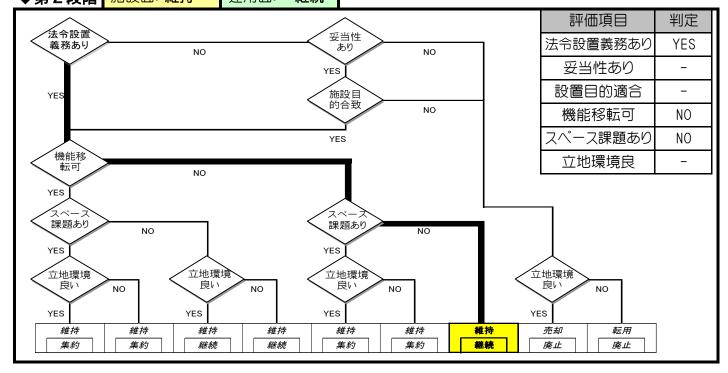
	施設番号	808009012004 施設名		3称	浜松	外部	
	財産管理者	教育委員会財産事		事務取扱	5務取扱者 浜松特別支援学校		
	用途	教育施	設置年 2011		2011		
基本	施設目的	特別支援学校					
情報	敷地面積	1,00	)5.07 m <sup>‡</sup>	延床	面積	1,389.00 m	内部
拟	土地台帳価格		0 千円	建物台	帳価格	189,249 千	THE STATE OF THE S
	用途地域	1		路網	<b>泉価</b>	一 円/	m
	交通アクセス	最寄り駅:浜松駅か バス20分	<u> </u>				

### ◆第1段階 A3 品質 3.00点 供給·財務 2.40点

	A I H					
○主	な内訳		(括弧内は偏差値)			
品質	建築後経済	<b>過年数</b>	<b>過年数</b>			3.00点
品質	建築劣化度	屋上防	2011.0年		3.00点	
品質	连架为汇反	外壁	2011.	0年	3.00点	
品質	設備劣化度	空気調和	設備	2011.0年		3.00点
品質	以佣力记及	受変電調	_		-	
品質	津波性能	3.00点	耐	耐震性能		3.00点
品質	エネルギー/面積	0.	01GJ	(66.	03)	3.00点
供給	面積/人数	26.	26.21m <sup>2</sup>		13)	3.00点
供給	生徒充足	<b>尼</b> 率	三率		30%	2.00点
財務	コスト/人	8,0	45円	(41.	59)	3.00点
財務	コスト/面積	1:	22円	(40.	14)	3.00点



# ◆**第2段階 施設面: 維持** 運用面: **継続**



#### □コスト推計

主な投資コスト(建設時から現在ま	建設費	208	番 百万円	持管理費 B(※2)	1	百万円
(建設時から現在よで)	使用年数 A(※1)	5.0 年	小計		209	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	45	百万円	維持管理費 (※3)	1	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	46	百万円

#### ※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	45 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	大規模改修 パターン	3111	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿 命化を図っていく。
で味く)	建替え パターン	אוווי	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	生徒数52人の特別支援学校(知的障害)である。 (施設規模人数:54名)
これまでの保全の 状況	分校のため浜松城北工業高等学校の保全状況に同じ。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

施設面: **維持** 運用

運用面: 継続

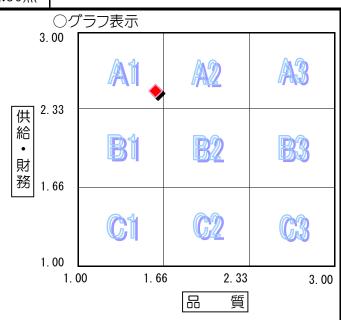
補足

施設の状態及び利用状況も良好であるため、引き続き適正に管理していく施設

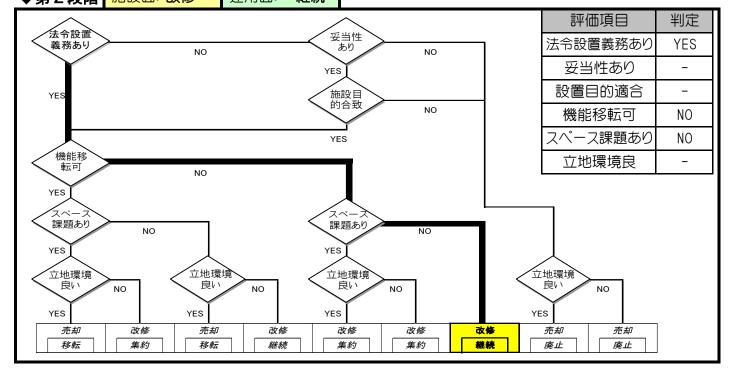
	施設番号	808010012001	01 施設名称 東部特別支援学校			外部	
	財産管理者	教育委員会	会 財産事務取扱者 東部特別支援学校				
	用途	教育施設 設置年			1979		
基本	施設目的	特別支援学校	—————————————————————————————————————				
情 報	敷地面積	10,3	13.12 m²	延床面	ī積	5,041.17 m	内部
拟	土地台帳価格	522	,227 千円	建物台帳	価格	126,367 千	H
	用途地域	指定なし		路線	西	41,500 円/	m i
	交通アクセス	最寄り駅:韮山駅か 徒歩10分	<u>.</u> Э				

### ◆第 1 段階 A1 品質 1.64点 供給•財務 2.50点

 - 11	~ II = I				
○主	な内訳			(括弧内は	編差値)
品質	建築後経過	<b>過年数</b>	4	41.2年	1.47点
品質	建築劣化度	屋上防	水	1991.4年	1.40点
品質	连来力记反	外壁		1991.4年	1.59点
品質	設備劣化度	空気調和	設備	1993.1年	1.26点
品質	可用力化皮	受変電調	设備	1974.8年	1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐	震性能	3.00点
品質	エネルギー/面積	0.2	29GJ	(57.86)	3.00点
供給	面積/人数	43.8	43.84 m²		3.00点
供給	生徒充足	<b>足率</b>			-
財務	コスト/人	90,3	88円	(43.09)	3.00点
財務	コスト/面積	1,9	01円	(42.68)	3.00点



# ◆**第2段階 施設面: 改修** 運用面: **継続**



### □コスト推計

	7 <del>.1.</del> =0.##	0.40	糸	推持管理費	0.4	
主な投資コスト (建設時から現在ま	建設費	346	百万円	B(%2)	24	百万円
(建設時から現在よ	使用年数 A(※1)	41.2 年	小計		370	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	162	百万円	維持管理費 (※3)	6	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	440	百万円	建替え経費	813	百万円
	解体費	56	百万円	小計	1,478	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	162 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	大規模改修 パターン	1 1141	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
を味く)	建替え パターン		今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	生徒数97人の特別支援学校(肢体不自由)である。(訪問教育を除く)
これまでの保全の 状況	建物等について、概ね良好な保全状態である。
その他	H30.3移転建替え予定

### □財産管理担当の考え方

廃止 • 継続   一般   一般   一般   一般   一般   一般   一般   一	評価変更布室有  移転建替えの計画がある。また、三島・田方地区特別支援学校(仮称)にて活用を検討しているため、移  転・転甲が妥当
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

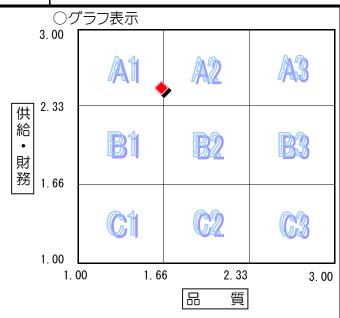
施設面: 転用 運用面: 移転

補 現行計画(移転建で替え)に沿って、移転・転用を図っていく施設

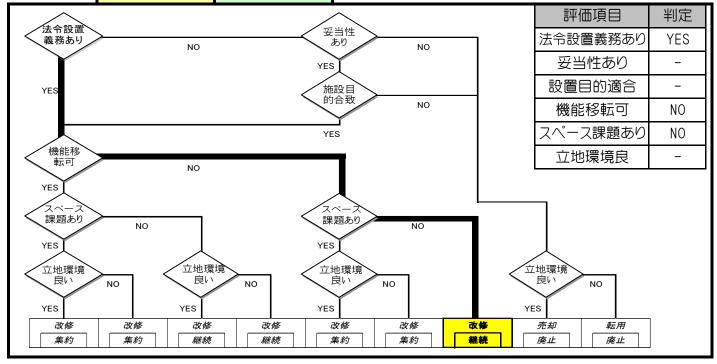
	施設番号	808010012004	施設名	称	東部	部特別支援学校川奈分校	外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱	者	東部特別支援学校	
	用途	教育施	嗀		設置年	<b>■</b> 1980	
基本	施設目的	特別支援学校					
情 報	敷地面積		0.00 m²	延床	面積	1,655.42	m <sup>*</sup> 内部
拟	土地台帳価格		0 千円	建物台	帳価格	66,213	千円
	用途地域	指定なし		路約	泉価	21,314	円/㎡
	交通アクセス	最寄り駅:川奈駅か	6		-		
	文地アグピス	徒歩20分					

# ◆第1段階 A2 品質 1.69点 供給•財務 2.50点

1	J . T.	A P P	997 11 = 17111 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17					
	○主	:な内訳		(括弧内は偏差値)				
	品質	建築後経過	<b>過年数</b>	3	36.1年		1.69点	
	品質	建築劣化度	屋上防	水	1986.9	9年	1.39点	
	品質	连架为汇反	外壁		1989.6	6年	1.39点	
	品質	設備劣化度	空気調和	設備	1990.8	3年	1.00点	
	品質	议师为记坛	受変電調	1979.9	9年	1.00点		
	品質	津波性能	3.00点	耐	付震性能		3.00点	
	品質	エネルギー/面積	0.	18GJ (61.0		0)	3.00点	
	供給	面積/人数	55.	18 m²	(47.5	50)	3.00点	
	供給	生徒充足	2率			-	1	
	財務	コスト/人	39,0	41円	(42.1	16)	3.00点	
	財務	コスト/面積	6	13円	(40.8	34)	3.00点	



## ◆第2段階<mark>施設面: 改修</mark>運用面: **継続**



#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在ま	建設費	201		持管理費 B(※2)	8	百万円
(建設時がり現在よ	使用年数 A(※1)	36.1 年	小計		209	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	53	百万円	維持管理費 (※3)	2	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	213	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	268	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	53 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	大規模改修 パターン	358 百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿 命化を図っていく。
(1)	建替え パターン	596 百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿 命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	生徒数24人の施設併設の特別支援学校(病弱)である。
これまでの保全の 状況	建物等について、概ね良好な保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

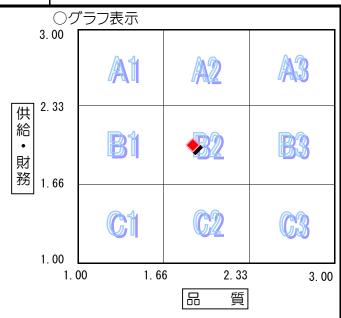
施設面: 改修 運用面: 継続

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

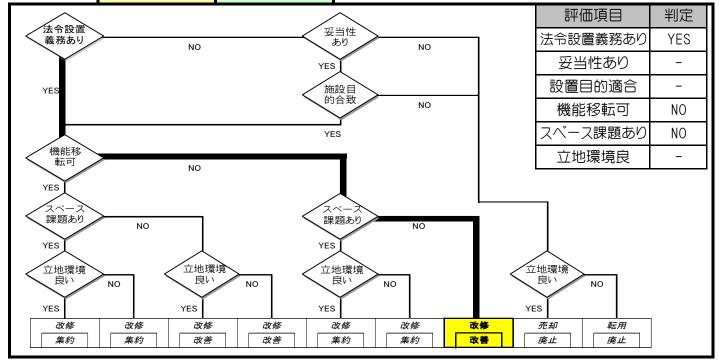
	施設番号	808010012006	施設名	称	東部特別	支援学校伊豆高原分校	外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱者		東部特別支援学校	
	用途	教育施	嗀	Ī	设置年	1983	
基本	施設目的	特別支援学校					
· 情 報	敷地面積		0.00 m <sup>‡</sup>	延床面	積	520.16 m²	内部
拟	土地台帳価格		0 千円	建物台帳	価格	114,773 千円	Contract Contract
	用途地域	1		路線個	西	<b>21,072</b> 円/m	
	交通アクセス	最寄り駅:城ケ崎海 徒歩13分	 岸駅から		-		

### ◆第1段階 B2 品質 1.95点 供給•財務 2.00点

○主	編差値)				
品質	建築後経過	<b>B</b> 年数	63	33.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防	水	1983.0年	1.00点
品質	连架为汇反	外壁		1983.0年	1.00点
品質	設備劣化度	空気調和	設備	2011.0年	3.00点
品質	过	受変電設備		1983.0年	1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐	震性能	3.00点
品質	エネルギー/面積	0.	03GJ	(65.52)	3.00点
供給	面積/人数	13.3	34 m²	(44.08)	2.00点
供給	生徒充足	<b>E</b> 率	·	88.89%	1.00点
財務	コスト/人	7,8	97円	(41.59)	3.00点
財務	コスト/面積	3	95円	(40.53)	3.00点



## ◆第2段階<mark>施設面: 改修</mark>運用面: 改善



#### □コスト推計

主な投資コスト(建設時から現在ま	建設費	256	番 百万円	持管理費 B(※2)	4	百万円
(建設時から現在よで)	使用年数 A(※1)	33.0 年	小計		260	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	17	百万円	維持管理費 (※3)	1	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	96	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	114	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	17 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	大規模改修 パターン	114	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿 命化を図っていく。
を除く)	建替え パターン		今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数54人の特別支援学校(知的障害・肢体不自由)である。 (施設規模人数:54名)
これまでの保全の 状況	分校のため伊東高等学校城ヶ崎分校の保全状態に同じ
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

施設面: 改修

運用面: 改善

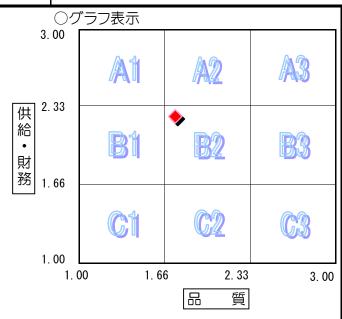
補

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

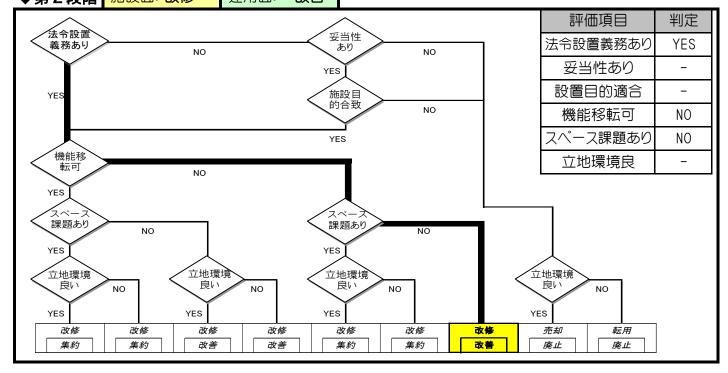
	施設番号	808011012001	施設名	称	中	央特別支援学校	外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱者		中央特別支援学校	
	用途	教育施	教育施設			1975	
基本	施設目的	特別支援学校	別支援学校				
情報	敷地面積		0.00 m <sup>2</sup>	延床面	積	8,979.83 r	が 内部
拟	土地台帳価格		0 千円	建物台帳	価格	273,208 =	EH THE THE THE THE THE THE THE THE THE T
	用途地域	指定なし		路線	価	— н	]/㎡
	交通アクセス	最寄り駅:静岡駅から バス30分					

## ◆第 1 段階 B2 品質 1.79点 供給•財務 2.25点

ΟÌ	な内訳			(括弧内は	編差値)
品質	建築後経過	<b>過年数</b>	過年数 3		1.19点
品質	建築劣化度	屋上防水		2001.0年	2.12点
品質		外壁		2000.0年	2.05点
品質	設備劣化度	空気調和	設備	2010.3年	2.79点
品質	过	受変電調	受変電設備		1.61点
品質	津波性能	3.00点	耐	震性能	3.00点
品質	エネルギー/面積	0.	51GJ	(51.63)	2.00点
供給	面積/人数	52.	51m²	(47.28)	3.00点
供給	生徒充足	<b>尼</b> 率		_	ı
財務	コスト/人	172,7	15円	(44.59)	3.00点
財務	コスト/面積	空気調和 受変電調 3.00点 0 52 足率	77円	(45.08)	2.00点



# ◆**第2段階 施設面: 改修** 運用面: **改善**



#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在ま	建設費	845		持管理費 B(※2)	143	百万円
で)	使用年数 A(※1)	39.9 年	小計		988	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	289	百万円	維持管理費 (※3)	36	百万円
	大規模改修費	1,654	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	1,979	百万円

#### ※3 B÷A×10年

パターン別コス ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	計画保全 パターン	289 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修 パターン	1 4/13	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替え パターン		今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数172人の特別支援学校(肢体不自由・病弱)である。(訪問教育病弱学級は除く)
これまでの保全の 状況	建物については、概ね良好な保全状態であるが、校舎・体育館・寄宿舎の建物周辺に地盤沈下が見受けられる。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

施設面: 改修

運用面: 改善

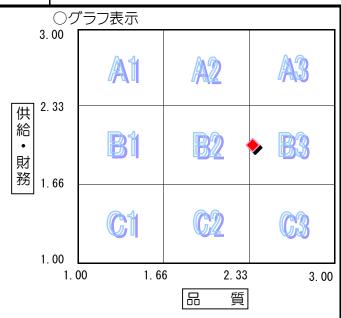
補口

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

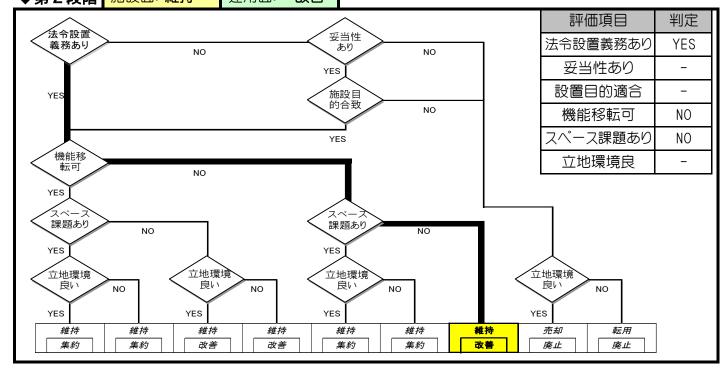
	施設番号	808012012002	施設名	称	静岡	外部		
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱者	静	岡南部特別支援学校		
	用途	教育施設			設置年	1985		
基本	施設目的	特別支援学校						
· 情 報	敷地面積	4,03	6.49 m <sup>*</sup>	延床面	<b>面積</b>	4,150.48	m°	内部
拟	土地台帳価格	599	,707 千円	建物台帕	長価格	369,061	千円	
	用途地域	住居地域		路線	価	-	円/㎡	
	□▽ⅰ角アクセス□	最寄り駅:柚木駅か 徒歩10分	<u>.</u> 6		-			

### ◆第1段階 B3 品質 2.45点 供給•財務 2.00点

-		~ I A					
	○主	な内訳			(括弧	内は	編差値)
	品質	建築後経過	<b>過年数</b>	3	31.0年	<u> </u>	2.00点
	品質 建築劣化度	屋上防	水	2008	.0年	3.00点	
	品質	连架为汇反	外壁	2004	.0年	2.00点	
	品質	設備劣化度	空気調和	設備	2010.0年		3.00点
	品質	过	受変電調	设備	2015.0年		3.00点
	品質	津波性能	3.00点	耐	震性	能	3.00点
	品質	エネルギー/面積	0.3	22GJ	2GJ (59.84)		3.00点
	供給	面積/人数	103.	76 m²	6m (51.47)		3.00点
	供給	生徒充足	<b>E</b> 率			-	_
	財務	コスト/人	371,7	34円	(48.	.22)	2.00点
	財務	コスト/面積	屋上防 外壁 空気調和 受変電調 3.00点 103. 足率	41円	(45.	.60)	2.00点



# ◆**第2段階 施設面: 維持** 運用面: 改善



#### □コスト推計

主な投資コスト(建設時から現在ま	建設費	672		持管理費 B(※2)	72	百万円
(建設時がり現在よ	使用年数 A(※1)	31.0 年	小計		744	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	134	百万円	維持管理費 (※3)	23	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	765	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	921	百万円

#### ※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	134 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費	大規模改修 パターン	898 百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
を除く)	建替え パターン	1,495 百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数31人の特別支援学校(肢体不自由)である。(訪問教育は除く)
これまでの保全の 状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

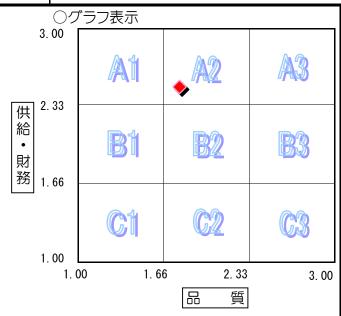
施設面: 維持 運用面: 改善

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設

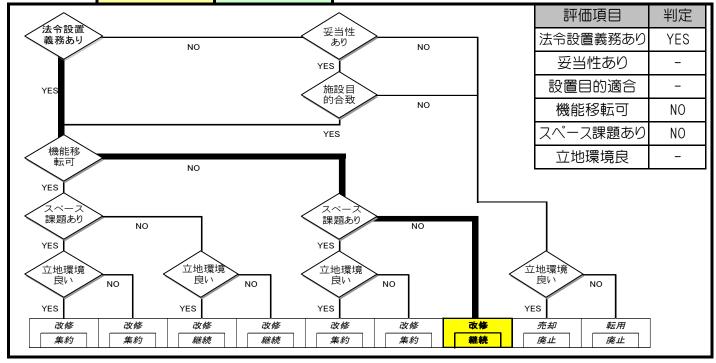
	施設番号	808013012001	施設名	称	团	西部特別支援学校	外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱者	Á	西部特別支援学校	
	用途	教育施	嗀		設置年	1978	
基本	施設目的	特別支援学校					
· 情 報	敷地面積	12,29	5.68 m <sup>*</sup>	延床面	面積	6,403.34 m	内部
拟	土地台帳価格	588	,366 千円	建物台帕	長価格	172,862 千	H
	用途地域	指定なし		路線	価	一 円/	mi )
	交通アクセス	最寄り駅:浜松駅か バス50分	Ġ	•			

### ◆第 1 段階 A2 品質 1.84点 供給•財務 2.50点

○主	な内訳			(括弧内は	編差値)			
品質	建築後経過	過年数 4		10.8年	1.61点			
品質	建筑少ル度	屋上防	水	1990.7年	1.33点			
品質	<b>建采力</b> 记及	外壁		1980.2年	1.00点			
品質	シニュ シャップ シャップ シャップ かんりゅう かんしゅう かいしゅう しゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	空気調和	設備	2008.0年	2.30点			
品質	议(開力) 1.1.1之	受変電詞	设備	2003.0年	2.00点			
品質	津波性能	3.00点	耐	震性能	3.00点			
品質	エネルギー/面積	0.:	25GJ	(59.20)	3.00点			
供給	面積/人数	47.79 m²		(46.90)	3.00点			
供給	生徒充足	三率			-			
財務	コスト/人	69,8	16円	(42.72)	3.00点			
財務	コスト/面積	1,3	19円	(41.85)	3.00点			
	品品品品品供供財	品質   建築劣化度     品質   設備劣化度     品質   津波性能     品質   エネルギー/面積     供給   面積/人数     供給   生徒充気     財務   コスト/人	品質 建築後経過年数     品質 建築劣化度   屋上防外壁     品質 設備劣化度   空気調和受変電調     品質 津波性能 3.00点     品質 エネルギー/面積 面積/人数 47.     供給 面積/人数 47.     財務 コスト/人 69,8	品質 建築後経過年数   建築劣化度     品質 建築劣化度   屋上防水 外壁     品質 設備劣化度   空気調和設備 受変電設備     品質 津波性能 3.00点 耐品質 エネルギー/面積 0.25GJ供給 面積/人数 47.79㎡ 生徒充足率     財務 コスト/人 69,816円	品質 品質 品質 品質 品質 品質 設備劣化度屋上防水 外壁 空気調和設備 空気調和設備 2008.0年 受変電設備 の3.00点1980.2年 2008.0年 受変電設備 の3.00点品質 品質 工ネルギー/面積 供給 工本ルギー/面積 (46.90) 生徒充足率0.25GJ 47.79㎡ (46.90) (46.90) (46.90)財務 財務 コスト/人 日本 <br< th=""></br<>			



## ◆第2段階<mark>施設面: 改修</mark>運用面: **継続**



### □コスト推計

主な投資コスト	建設費	448	百万円	維持管理費 B(※2)	58	百万円
(建設時から現在まで)	使用年数 A(※1)	40.8 年	小計		506	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	206	百万円	維持管理費 (※3)	14	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	724	百万円	建替え経費	759	百万円
	解体費	52	百万円	小計	1,755	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス ト試算の比較 (維持管理費	計画保全 パターン	206 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修 パターン	1,385 百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿 命化を図っていく。
を除く)	建替え パターン	2,306 百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数113人の特別支援学校(肢体不自由)である。(訪問教育は除く)
これまでの保全の 状況	建物等について、概ね良好な保全状態である。
その他	H29.3移転建替え予定

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続	評価変更希望有
の理由	移転建替えの計画があるため、移転・売却が妥当
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価 <mark>施設面: **売却**</mark>

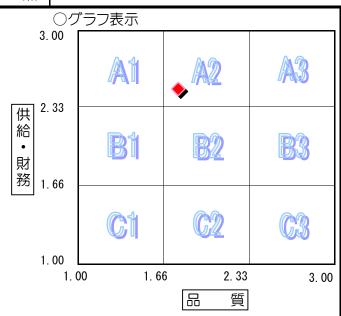
運用面: 移転

現行計画(移転建て替え)に沿って、移転・売却を図っていく施設

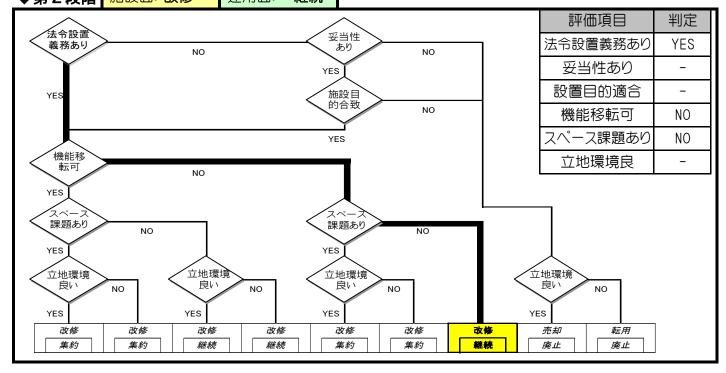
	施設番号	808014012001	808014012001 施設名称 天竜特別支援学校					外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱す	当	天竜特別支援学校		
	用途	教育施	嗀		設置年	1980		
基本	施設目的	特別支援学校						
情 報	敷地面積	29,44	11.02 m <sup>‡</sup>	延床	面積	4,729.10	m²	内部
拟	土地台帳価格	371	1,882 千円	建物台位	<b>長価格</b>	258,367	千円	
	用途地域	指定なし		路紡	!価	-	円/㎡	
	交通アクセス	最寄り駅:西鹿島か	6	-				
	文地アグピス	バス10分						

### ◆**第 1 段階** A2 品質 1.83点 供給•財務 2.50点

○主	な内訳	(括弧内は偏差値)				
品質	建築後経済	<b>過年数</b>	3	5.2年	1.76点	
品質	建築劣化度	屋上防	水	1991.2年	1.00点	
品質	连来力记反	外壁		1995.6年	1.46点	
品質	設備劣化度	空気調和	設備	2004.4年	2.41点	
品質	可用力化反	受変電調	设備	1980.8年	1.00点	
品質	津波性能	3.00点	耐	震性能	3.00点	
品質	エネルギー/面積	0.	17GJ	(61.46)	3.00点	
供給	面積/人数	47.	47.29 m²		3.00点	
供給	生徒充足	足率			-	
財務	コスト/人	87,4	57円	(43.04)	3.00点	
財務	コスト/面積	1,2	02円	(41.68)	3.00点	



# ◆**第2段階 施設面: 改修** 運用面: **継続**



#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在ま	建設費	568		持管理費 B(※2)	60	百万円
で)	使用年数 A(※1)	35.2 年	小計		628	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	152	百万円	維持管理費 (※3)	17	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	735	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	904	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費 を除く)	計画保全 パターン	152 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修 パターン	111/3	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿 命化を図っていく。
	建替え パターン		今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数78人の特別支援学校(病弱)である。(訪問教育は除く)
これまでの保全の 状況	渡り廊下等の鉄部においては、発錆びあるが、校舎等建物については、概ね良好な保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

施設面: 改修

運用面: 継続

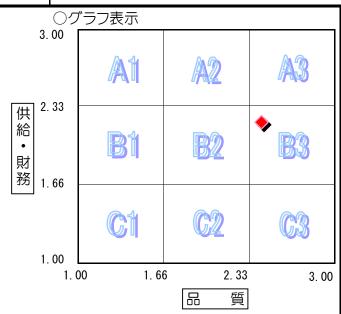
佣兄

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

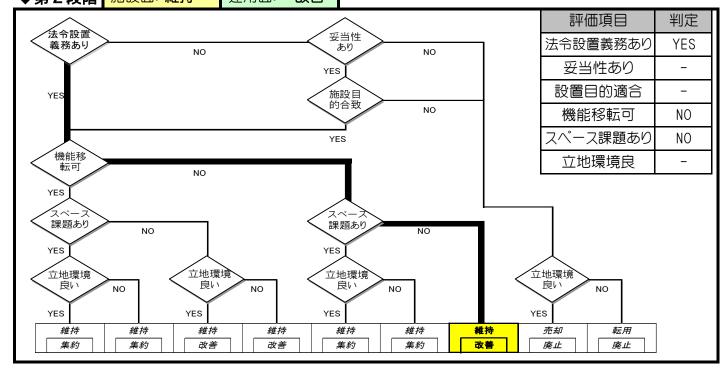
	施設番号	808015012001	施設名称		藤枝特別支援学校			外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱者	±	藤枝特別支援学校		BEEL LUNG
	用途	教育施		設置年	2000		The same of the sa	
基本	施設目的	特別支援学校					arm arm	
· 情 報	敷地面積	19,78	31.66 m <sup>‡</sup>	延床面	面積	9,846.33	m²	内部
拟	土地台帳価格	1,102,121 千円 建		建物台帕	長価格	1,175,982	千円	
	用途地域	指定なし		路線	価	-	円/㎡	
	交通アクセス	最寄り駅:藤枝駅か バス10分	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					

### ◆第1段階 B3 品質 2.52点 供給•財務 2.20点

○主	な内訳			(括弧内は	(偏差値)
品質	建築後経過	<b>過年数</b>	6	21.7年	2.53点
品質	建築劣化度	屋上防	水	2002.8年	2.16点
品質	<b>建采力</b> 记及	外壁		2012.2年	2.89点
品質	設備劣化度	空気調和	設備	2007.8年	2.71点
品質	受変電設備 受変電設備		1994.3年	1.58点	
品質	津波性能	3.00点	耐	震性能	3.00点
品質	エネルギー/面積	0.3	34GJ	(56.33)	3.00点
供給	面積/人数	71.	35 m²	(48.82)	3.00点
供給	生徒充足	<b>尼</b> 率		118.37%	1.00点
財務	コスト/人	99,466₽		(43.26)	3.00点
財務	コスト/面積	2,2	02円	(43.11)	3.00点



# ◆**第2段階 施設面: 維持** 運用面: **改善**



#### □コスト推計

主な投資コスト(建設時から現在ま	建設費	1,682		持管理費 B(※2)	45	百万円
で)	使用年数 A(※1)	21.7 年	小計		1,727	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	317	百万円	維持管理費 (※3)	21	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	528	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	866	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費 を除く)	計画保全 パターン	317 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修 パターン	/ 1311	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替え パターン		今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数325人の特別支援学校(知的障害・肢体不自由)である。(訪問教育は除く) (施設規模人数:283名)
これまでの保全の 状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

施設面: 維持

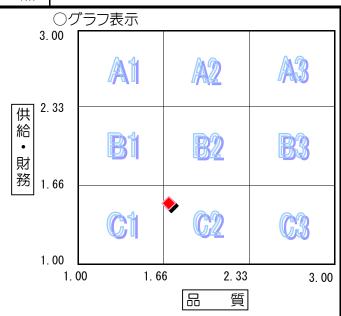
運用面: 改善

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設

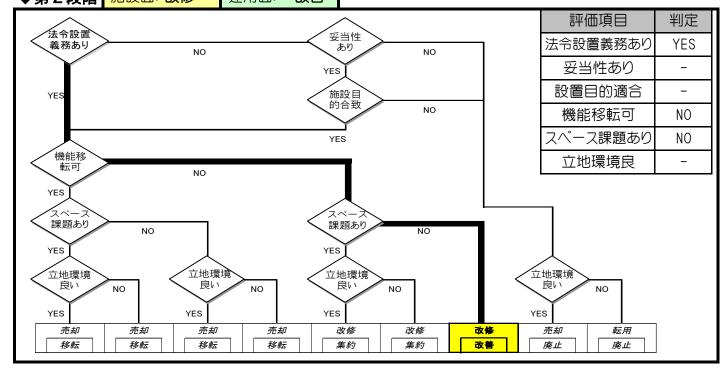
	施設番号	808015012002 施設名称			吉田特別支援学校駿遠分教室			外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱	者	吉田特別支援学校		
	用途	教育施	設		設置年 1980			
基本	施設目的	特別支援学校						
· 情 報	敷地面積		0.00 m <sup>2</sup>	延床	面積	224.00	m¹	内部
拟	土地台帳価格		0 千円	建物台	帳価格	11,150 =	千円	
	用途地域	指定なし		路約	泉価	<b>–</b> F	円/㎡	
	交通アクセス	-						

### ◆**第 1 段階** C2 品質 1.75点 供給•財務 1.50点

-		~FH					
	○主	な内訳			(括弧	内は	編差値)
	品質	建築後経過	<b>過年数</b>	9	86.0年		2.00点
	品質	建築劣化度	屋上防水		1980.	0年	1.00点
	品質	连架为汇反	外壁		1980.	0年	1.00点
	品質	設備劣化度	空気調和	調和設備		0年	1.00点
	品質	政(開力) 化反	受変電調	<b>空電設備</b>		0年	1.00点
	品質	津波性能	3.00点	耐震性能		能	3.00点
	品質	エネルギー/面積	0.0	03GJ	(65.4	47)	3.00点
	供給	面積/人数	13.	18 m²	(44.	07)	2.00点
	供給	生徒充足	<b>E</b> 率			-	-
	財務	コスト/人		-	-		_
	財務	コスト/面積		_	_		_



# ◆**第2段階 施設面: 改修** 運用面: **改善**



#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在ま	建設費	27		持管理費 B(※2)	0	百万円
(建設時がり現在よ	使用年数 A(※1)	36.0 年	小計		27	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	7	百万円	維持管理費 (※3)	0	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	41	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	48	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス ト試算の比較 (維持管理費	計画保全 パターン	7 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修 パターン	// 8	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
を除く) 	建替え パターン	A I	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数12人の施設併設の特別支援学校(知的障害)である。
これまでの保全の 状況	建物等について、概ね良好な保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

施設面: 改修 運用面

運用面: 改善

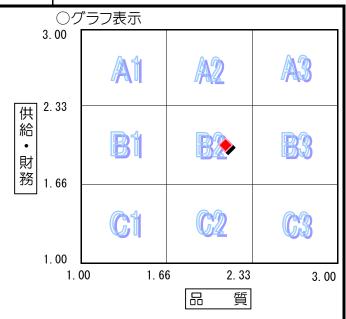
補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

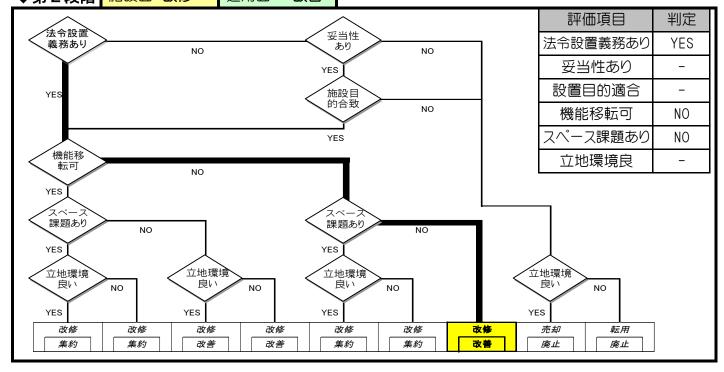
	施設番号	808016012001	016012001 施設名称			冒士特別支援学校	外部
	財産管理者	<b>産管理者</b> 教育委員会		財産事務取扱者 富士特		富士特別支援学校	
	用途	教育施		设置年	THE REAL PROPERTY.		
基本	施設目的	特別支援学校					
· 情 報	敷地面積	19,09	19,096.54 m <sup>2</sup>			8,764.83 m²	内部
拟	土地台帳価格	542	542,887 千円 建			829,781 千月	T Company
	用途地域	指定なし		路線	<b>西</b>	一 円/	mi
	交通アクセス	最寄り駅:JR東海・富 バス30分 徒歩2分					

## ◆第1段階 B2 品質 2.20点 供給·財務 2.00点

○主	な内訳			(括弧内は	編差値)
品質	建築後経過	<b>B</b> 年数	2	24.4年	2.08点
品質	建築劣化度	屋上防	水	2001.5年	2.40点
品質	连架为汇反	外壁		2013.1年	2.89点
品質	設備劣化度	空気調和	設備	2012.1年	2.65点
品質	过	受変電調	设備	1990.0年	0.18点
品質	津波性能	3.00点	耐	震性能	3.00点
品質	エネルギー/面積	0.1	28GJ	(58.11)	3.00点
供給	面積/人数	22.	36 m²	(44.82)	2.00点
供給	生徒充足	尼率		137.54%	1.00点
財務	コスト/人	153,107円		(44.24)	3.00点
財務	コスト/面積	3,3	71円	(44.79)	3.00点



# ◆**第2段階 施設面: 改修** 運用面: **改善**



#### □コスト推計

主な投資コスト	主な投資コスト(建設時から現在ま	建設費	1,399	百万円	維持管理費 B(※2)	72	百万円
	で)	使用年数 A(※1)	24.4 年	小計		1,471	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	282	百万円	維持管理費 (※3)	29	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	311	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	計画保全 パターン	282 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修 パターン	IXUN	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替え パターン		今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数399人の特別支援学校(知的障害・肢体不自由)である。(訪問教育は除く) (施設規模人数:285名)
これまでの保全の 状況	建物等について、概ね良好な保全状態であるが、内装においては、壁の亀裂・塗装の剥がれ・タイルの破損が多数見受けられる。
その他	

### □財産管理担当の考え方

廃止・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

施設面: 改修

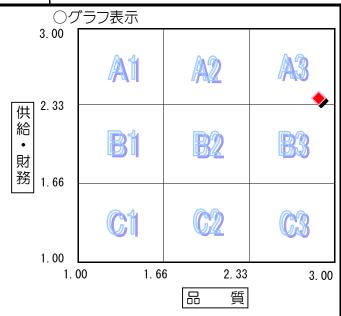
運用面: 改善

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

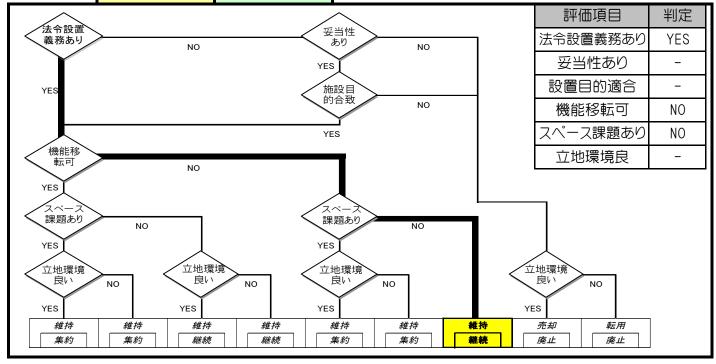
	施設番号 80801601200		施設名称		富士特別	別支援学校富士宮分校	外部	
	財産管理者	教育委員会財産事		事務取扱者	富士特別支援学校			
	用途	教育施	設置年 2011					
基本	施設目的	特別支援学校						
· 情 報	敷地面積	5,04	延床	面積	1,177.68	3 m²	内部	
拟	土地台帳価格	329	建物台帧	長価格	198,388	千円		
	用途地域	第2種住居専用	地域	<b>路線価</b> - 円/㎡				
	交通アクセス	最寄り駅:JR東海•富 バス13分	宝士宮から	)				

## ◆第1段階 A3 品質 3.00点 供給·財務 2.40点

○主	な内訳	(括弧内は偏差値)				
品質	建築後経過	<b>B</b> 年数		5.0年	3.00点	
品質	建築劣化度	屋上防	水	2011.0年	3.00点	
品質	连架为汇反	外壁		2011.0年	3.00点	
品質	設備劣化度	空気調和	設備	2011.0年	3.00点	
品質	过	受変電調	设備	2011.0年	3.00点	
品質	津波性能	3.00点	耐	震性能	3.00点	
品質	エネルギー/面積	0.1	26GJ	(58.83)	3.00点	
供給	面積/人数	14.	54 m²	(44.18)	2.00点	
供給	生徒充足	尼率		98.77%	3.00点	
財務	コスト/人	54,8	24円	(42.44)	3.00点	
財務	コスト/面積	1,2	57円	(41.76)	3.00点	



## ◆第2段階<mark>施設面: 維持</mark>運用面: 継続



#### □コスト推計

主な投資コスト(建設時から現在まで)	建設費	218		持管理費 B(※2)	2	百万円
	使用年数 A(※ <b>1</b> )	5.0 年	小計		220	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	38	百万円	維持管理費 (※3)	4	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	41	百万円

#### ※3 B÷A×10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費 を除く)	計画保全 パターン	38 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修 パターン	755	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿 命化を図っていく。
	建替え パターン		今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数77人の特別支援学校(知的障害)である。 (施設規模人数:81名)
これまでの保全の 状況	建物等について、概ね良好の保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

施設面: 維持

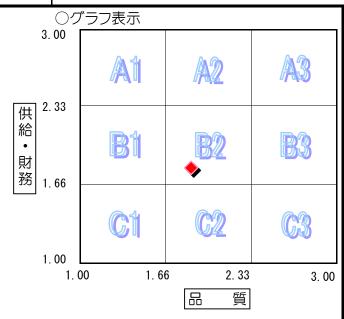
運用面: 継続

施設の状態及び利用状況も良好であるため、引き続き適正に管理していく施設

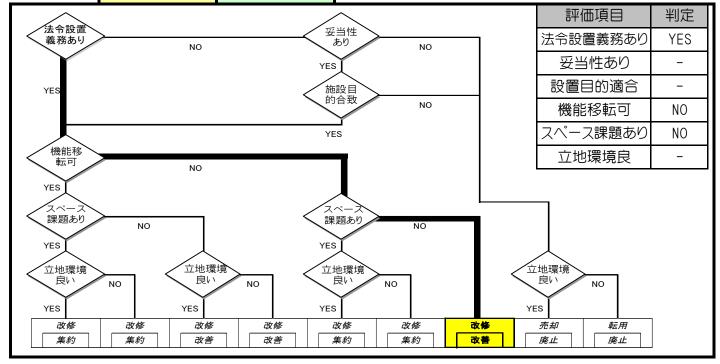
	施設番号	808017012001	施設名称		袋井特別支援学校			外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱者		袋井特別支援学校		
	用途	教育施	設置年		1990			
基本	施設目的	特別支援学校						
· 情 報	敷地面積	20,70	8.90 m <sup>‡</sup>	延床面	積	8,683.64	m°	内部
拟	土地台帳価格	602	建物台帳	価格	699,140	千円		
	用途地域	指定なし	<b>路線価</b> - 円/㎡			円/㎡		
	交通アクセス	最寄り駅:袋井駅か 徒歩20分	<u>.</u> 6		-			

## ◆第1段階 B2 品質 1.92点 供給·財務 1.80点

○主	な内訳			(括弧内は	編差値)
品質	建築後経過	過年数 2		25.9年	2.00点
品質	建筑少ル度	屋上防水		1990.1年	1.00点
品質	连架为汇反	外壁		1990.1年	1.00点
品質	シニュ シャップ シャップ シャップ シャップ かんしゅう かんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅん しゅん	空気調和	設備	2013.0年	2.69点
品質	过	受変電設備		1990.1年	1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐	震性能	3.00点
品質	エネルギー/面積	0.	31GJ	(57.47)	3.00点
供給	面積/人数	29.	74 m²	(45.42)	3.00点
供給	生徒充足	尼率		131.78%	1.00点
財務	コスト/人	342,9	28円	(47.70)	2.00点
財務	コスト/面積	6,6	35円	(49.46)	2.00点
	品品品品品供供財	品質   建築劣化度     品質   設備劣化度     品質   津波性能     品質   エネルギー/面積     供給   面積/人数     供給   生徒充気     財務   コスト/人	品質 は 葉後経過年数     品質 は 葉光化度   屋上防 外壁     品質 設備劣化度   空気調和 受変電話     品質 津波性能 3.00点     品質 エネルギー/面積 0.供給 面積/人数 29.供給 生徒充足率     財務 コスト/人 342,9	品質 建築後経過年数   2     品質 品質 設備劣化度 日本 20   空気調和設備 空気調和設備 受変電設備     品質 津波性能 3.00点 所品質 エネルギー/面積 の.31GJ供給 面積/人数 29.74㎡ 生徒充足率     財務 コスト/人 342,928円	品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質



## ◆第2段階<mark>施設面: 改修</mark>運用面: 改善



#### □コスト推計

主な投資コスト(建設時から現在ま	建設費	1,233		持管理費 B(※2)	1,105	百万円
で)	使用年数 A(※1)	25.9 年	小計		2,338	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	279	百万円	維持管理費 (※3)	426	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	705	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費	計画保全 パターン	279 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修 パターン	1 × / U	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
を除く) 	建替え パターン	3 1/8	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

	5 1137
個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数281人の特別支援学校(知的障害・肢体不自由)である。(訪問教育は除く) (施設規模人数:214名)
これまでの保全の 状況	建物等について、概ね良好な保全状態であるが、外壁のクラック及び鉄部の発錆が多数見受けられる。
その他	

### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

施設面: 改修

運用面: 改善

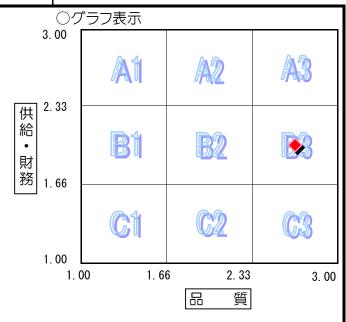
佣口

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

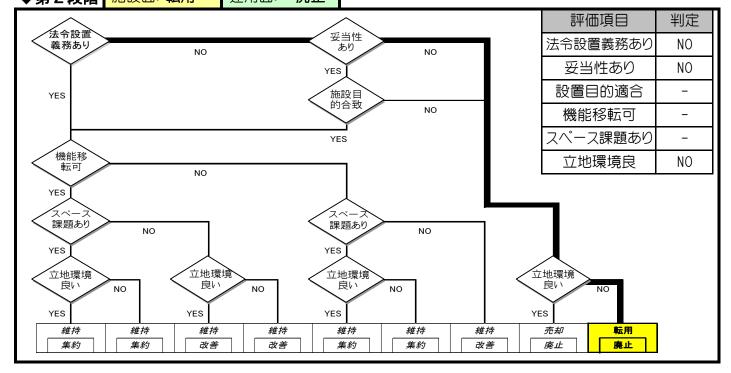
	施設番号	808017012002 施設名称			袋井特	持別支援学校東遠分教室		外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱	者	袋井特別支援学校		
	用途	教育施	嗀		設置年	1996		
基本	施設目的	特別支援学校						
情報	敷地面積		0.00 m <sup>2</sup>	延床	面積	1,003.54	m²	内部
拟	土地台帳価格		0 千円	建物台	帳価格	140,476	千円	
	用途地域	指定なし		路線	<b>遠価</b>	- (	円/mi	
	交通アクセス	最寄り駅:菊川駅か	6					
	文地アグピス	タクシー15分						

## ◆第1段階 B3 品質 2.78点 供給•財務 2.00点

_	J . F.	<b>APP</b>					1.1- 715576	
	○主	な内訳		(括弧内は偏差値)				
	品質	建築後経過	<b>過年数</b>	20.0年		Ξ	3.00点	
	品質	建築劣化度	屋上防	水	1996	.0年	2.00点	
	品質	<b>建采力</b> 记及	外壁		1996	.0年	2.00点	
	品質	設備劣化度	空気調和	設備	2011.	.0年	3.00点	
	品質	以佣力记尽	受変電調	设備 -		-	-	
	品質	津波性能	3.00点	耐	震性能		3.00点	
	品質	エネルギー/面積	0.0	02GJ	(65.	79)	3.00点	
	供給	面積/人数		-	ı	-	-	
	供給	生徒充足率				_	-	
	財務	コスト/人		-		-	_	
	財務	コスト/面積	3	27円	(40.	43)	3.00点	



# ◆**第2段階 施設面: 転用** 運用面: **廃**止



#### □コスト推計

主な投資コスト(建設時から現在ま	建設費	230		持管理費 B(※2)	7	百万円
で)	使用年数 A(※1)	20.0 年	小計		237	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	32	百万円	維持管理費 (※3)	3	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	36	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費	計画保全 パターン	32 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修 パターン	217	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
を除く)	建替え パターン		今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	未利用
これまでの保全の 状況	
その他	廃止済

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

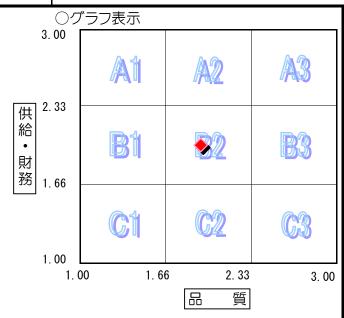
施設面: 転用 運用面: 廃止

補機能は廃止だが、立地環境等から直ちに売却が困難である場合には、他の用途への転用による活用も含めて処分を検 計する必要がある施設

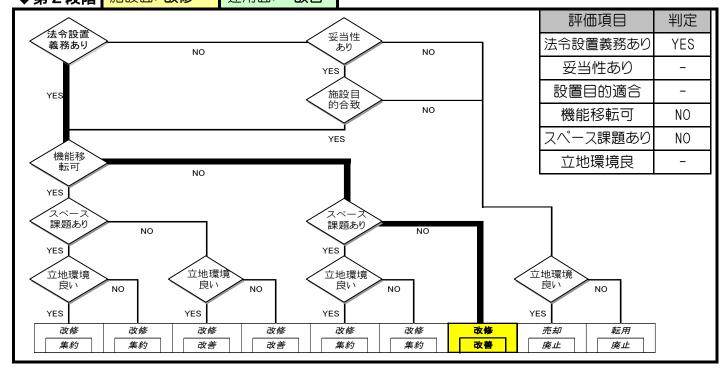
	施設番号	808017012003	施設名	称	袋井特別	外部	
	財産管理者	教育委員会	事務取扱者				
	用途	教育施	Ī	设置年	1968		
基本	施設目的	特別支援学校					
· 情 報	敷地面積		0.00 m <sup>2</sup>	延床面	i積	739.25	m 内部
拟	土地台帳価格		0 千円	建物台帳	価格	152,414	千円
	用途地域	1		路線	西	円/㎡	
	交通アクセス	最寄り駅:磐田駅か バス10分	<u> </u>		<u>-</u>		

# ◆第1段階 B2 品質 2.00点 供給•財務 2.00点

77 1 17	~FH					-	, , , , , , ,	
○主	な内訳				(括弧	(括弧内は偏差値)		
品質	建築後経過年数			4	18.0年	1.00点		
品質	建築劣化度	, J	屋上防水			.0年	3.00点	
品質	<b>建杂为</b> 记成	Z	外壁			.0年	3.00点	
品質	設備劣化度		空気調和設備			.0年	3.00点	
品質	以加力化及	受	受変電設備			-	-	
品質	津波性能	3.	3.00点 耐			能	3.00点	
品質	エネルギー/面	積	0.	05GJ	(64	.78)	3.00点	
供給	面積/人数		15.	40 m²	(44	.25)	2.00点	
供給	生徒充	足率	<u> </u>		88.89%		1.00点	
財務	コスト/人		31,7	22円	22円 (42.02)		3.00点	
財務	コスト/面積	į	9	01円	(41.	25)	3.00点	



# ◆**第2段階 施設面: 改修** 運用面: **改善**



#### □コスト推計

主な投資コスト(建設時から現在ま	建設費		17	百万円	持管理費 3(※2)	26	百万円
(建設時から現在よ	使用年数 A(※1)	48.0	年	小計		43	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	24	百万円	維持管理費 (※3)	5	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	227	百万円
	解体費	16	百万円	小計	272	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	24 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	大規模改修 パターン	160 百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿 命化を図っていく。
(1)	建替え パターン	266 百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数48人の特別支援学校(知的障害)である。 (施設規模人数:54名)
これまでの保全の 状況	分校のため磐田北高等学校の保全状況に同じ
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

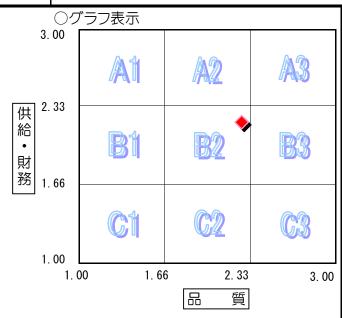
施設面: 改修 運用面: 改善

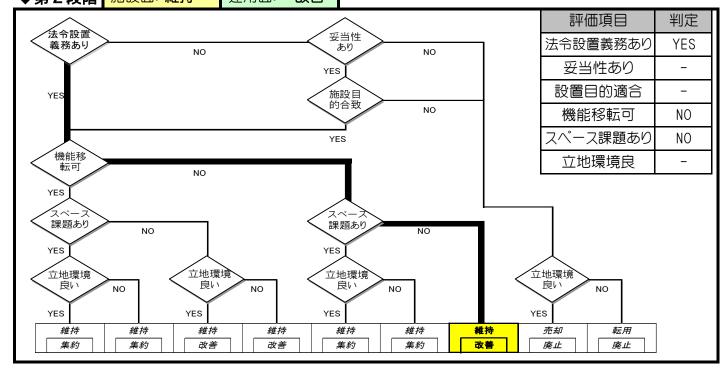
施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

	施設番号	808018012001	施設名称		浜名特別支援学校			外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱	及者	浜名特別支援:	学校	~
	用途	教育施	受	設置		設置年 1979		THE PARTY NAMED IN COLUMN TWO IS NOT THE PARTY N
基本	施設目的	特別支援学校						
情報	敷地面積		0.00 m <sup>2</sup>	延床	面積		4,995.03 m <sup>2</sup>	内部
拟	土地台帳価格		0 千円	建物台	計帳価格		689,323 千円	
	用途地域	指定なし		路	線価		<b>-</b> 円/㎡	
	交通アクセス	最寄り駅:新居町駅	から					
	文庫/ブピハ	徒歩55分						

# ◆第1段階 B3 品質 2.35点 供給•財務 2.20点

_	. T.	<b>APP</b>	2057 = 2111   15 (the 71)					
	○主	な内訳		(括弧内は偏差値				
	品質	建築後経過	<b>過年数</b>	87.0年		2.00点		
	品質	建築劣化度	屋上防	水	2000	.0年	2.00点	
	品質	连架为汇反	外壁		2000	.0年	2.00点	
	品質	設備劣化度	空気調和	設備	2012	.0年	3.00点	
	品質	过	受変電調	2009	.0年	3.00点		
	品質	津波性能	3.00点	耐	耐震性能		3.00点	
	品質	エネルギー/面積	0.0	32GJ	(57	.10)	3.00点	
	供給	面積/人数	39.33 m <sup>2</sup>		(46	.21)	3.00点	
	供給	生徒充足	<b>E</b> 率		195	.38%	1.00点	
	財務	コスト/人	96,69	99円	(43	.21)	3.00点	
	財務	コスト/面積	1,5	87円	(42	.23)	3.00点	





#### □コスト推計

主な投資コスト(建設時から現在ま	建設費	271	百万円	維持管理費 B(※2)	75	百万円
で)	使用年数 A(※1)	37.0 年	小計		346	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	161	百万円	維持管理費 (※3)	20	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	920	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	1,101	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	161 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	大規模改修 パターン	1,081 百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿 命化を図っていく。
(1)	建替え パターン	1,799 百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数130人の特別支援学校(知的障害・肢体不自由)である。 (施設規模人数:65名)
これまでの保全の 状況	建物等については、概ね良好な保全状態であるが、校舎の外壁に塗装の破損が多数箇所見受けられる。
その他	

## □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

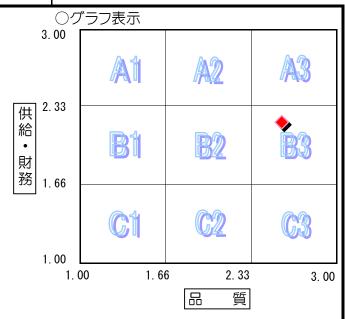
施設面: 維持

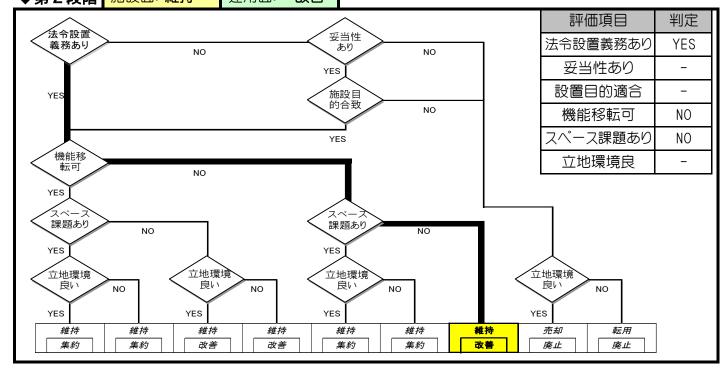
運用面: 改善

	施設番号	808019012001	施設名	称	称			外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱者	行	卸殿場特別支援学校		
	用途	教育施	灵	į	設置年 1999			
基本	施設目的	特別支援学校						77
· 情 報	敷地面積	18,00	0.05 m <sup>2</sup>	延床面	積	6,170.81	m²	内部
拟	土地台帳価格	314	,538 千円	建物台帕	価格	930,918	千円	"
	用途地域	指定なし		路線	価	-	円/㎡	
	▽ⅰ角アクセス	最寄り駅:岩波駅か タクシー15分	Ġ	•	•			

# ◆第1段階 B3 品質 2.68点 供給·財務 2.20点

 	~II-I					
○主	な内訳	(括弧内は偏差値				
品質	建築後経済	<b>過年数</b>	1	5.9年	3.00点	
品質	建築劣化度	屋上防	水	2000.1年	2.09点	
品質	连来力记反	外壁		2000.1年	2.09点	
品質	設備劣化度	空気調和	設備	2006.4年	2.47点	
品質	议(開力) 1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.	受変電調	设備	2000.1年	2.09点	
品質	津波性能	3.00点	耐	震性能	3.00点	
品質	エネルギー/面積	0.	31GJ	(57.26)	3.00点	
供給	面積/人数	27.	06 m²	(45.20)	3.00点	
供給	生徒充足	2率		161.59%	1.00点	
財務	コスト/人	92,7	68円	(43.14)	3.00点	
財務	コスト/面積	1,8	79円	(42.65)	3.00点	





#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在ま	建設費	1,234		持管理費 B(※2)	36	百万円
(建成時から現在よ	使用年数 A(※1)	15.9 年	小計		1,270	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	198	百万円	維持管理費 (※3)	23	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	221	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	198 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	大規模改修 パターン	1,335 百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿 命化を図っていく。
(1)	建替え パターン	2,223 百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

	5 1137
個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数229人の特別支援学校(知的障害・肢体不自由)である。 (施設規模人数:138名)
これまでの保全の 状況	建物等においては概ね良好な保全状態であるが、校舎の内外装ともに、亀裂が発生し劣化している箇所が多数見受けられる。
その他	

## □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

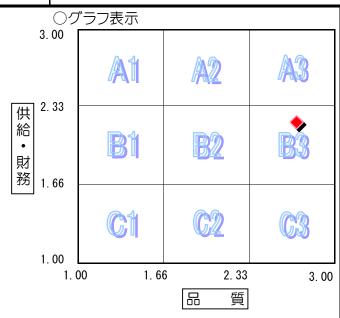
施設面: 維持

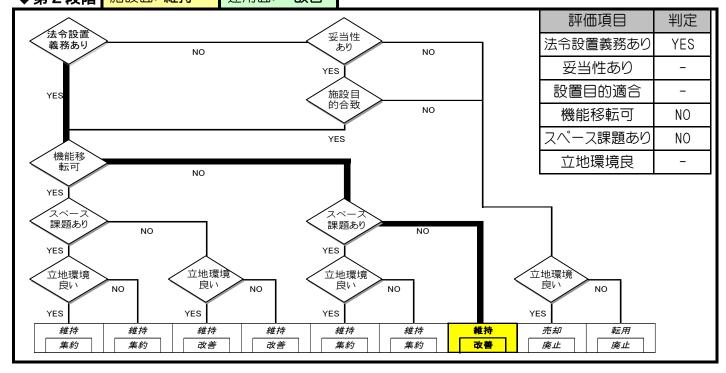
運用面: 改善

	施設番号	808020012001	施設名	名称 清水特別支援学校				外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱者		清水特別支援学校		
	用途	教育施	設	Ī	设置年	2010		No.
基本	施設目的	特別支援学校						
· 情 報	敷地面積	19,01	9.35 m <sup>*</sup>	延床面	積	6,998.39	m°	内部
拟	土地台帳価格	1,669	,084 千円	建物台帳	価格	1,066,991	千円	
	用途地域	住居地域		路線	<b>洒</b>	_	円/㎡	
	交通アクセス	最寄り駅:清水駅か バス10分 徒歩10分						

# ◆**第1段階** B3 品質 2.82点 供給・財務 2.20点

○主	な内訳			(括弧内は	編差値)
品質	建築後経過	<b>B</b> 年数	1	2.6年	2.69点
品質	建筑少ル度	屋上防	水	2008.1年	2.77点
品質	<b>建杂为</b> 记反	外壁		2010.0年	3.00点
品質	シニュ かんり はっぱい かんしゅう かんしゅ はまれる しゅんしゅう かんしゅう かんしゅ しゅんしゅう かんしゅ しゅんしゅう かんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅん しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅん しゅん	空気調和	設備	2010.2年	2.77点
品質	过	受変電調	设備	2010.0年	3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐	震性能	3.00点
品質	エネルギー/面積	0.:	26GJ (58.80)		3.00点
供給	面積/人数	30.	83 m <sup>‡</sup>	(45.51)	3.00点
供給	生徒充足	尼率		137.95%	1.00点
財務	コスト/人	101,4	76円	(43.29)	3.00点
財務	コスト/面積	1,5	37円	(42.16)	3.00点
	品品品品品供供財	品質   建築劣化度     品質   設備劣化度     品質   津波性能     品質   エネルギー/面積     供給   面積/人数     供給   生徒充気     財務   コスト/人	品質 は築後経過年数     品質 は築劣化度   屋上防外壁     品質 設備劣化度   空気調和受変電調     品質 津波性能 3.00点     品質 エネルギー/面積 (共給 面積/人数 30.4円給 生徒充足率)     財務 コスト/人 101,4	品質 は築後経過年数   建築劣化度     品質 は築劣化度   屋上防水 外壁     品質 設備劣化度   空気調和設備 受変電設備     品質 津波性能 3.00点 耐品質 エネルギー/面積 の.26GJ供給 面積/人数 30.83㎡ 供給 生徒充足率     財務 コスト/人 101,476円	品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質品質





#### □コスト推計

主な投資コスト	建設費	1,286		持管理費 B(※2)	32	百万円
(建設時から現在まで)	使用年数 A(※1)	12.6 年	小計		1,318	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	225	百万円	維持管理費 (※3)	26	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	249	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	500	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費 を除く)	計画保全 パターン	225 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修 パターン	1 5 1/1	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替え パターン		今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数231人の特別支援学校(知的障害)である。 (施設規模人数:166名)
これまでの保全の 状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

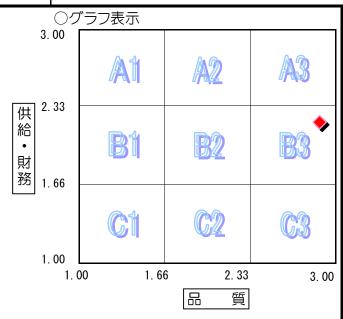
□総合評価

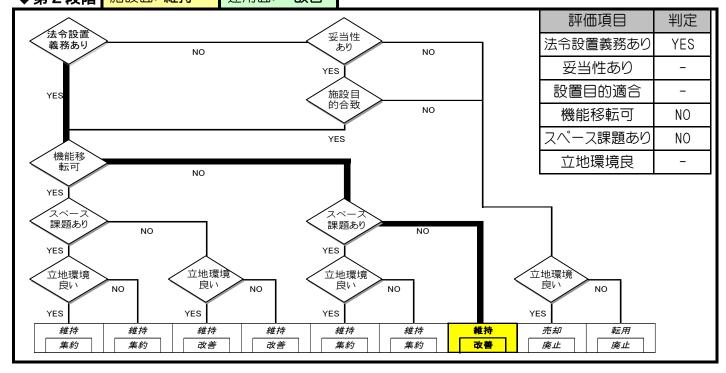
施設面: 維持 運用面: 改善

	施設番号	808021012017	施設名	称	练 浜北特別支援学校			外部	
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱	<b>没</b> 者	浜北特別	川支援学校		1/3
	用途	教育施	施設 設置年			<b>=</b> 2009			
基本	施設目的	特別支援学校							
情報	敷地面積	18,00	18,000.00 m²		延床面積 7,479.4		7,479.40	m²	内部
拟	土地台帳価格	750	750,394 千円				1,113,759	千円	
	用途地域	第1種住居専用	路網	線価	一 円/㎡				
	交通アクセス	最寄り駅:遠州芝本	駅から						THE RES
	文地アグピス	徒歩23分							

## ◆第1段階 B3 品質 3.00点 供給•財務 2.20点

 1.	A F H					
○主	な内訳			(括弧	内は	偏差値)
品質	建築後経過	<b>過年数</b>	7.0年		3.00点	
品質	建築劣化度	屋上防	2009	.0年	3.00点	
品質	连来力记反	外壁	2009	.0年	3.00点	
品質	設備劣化度	空気調和	設備	2009	.8年	3.00点
品質	过	受変電調	2011.	0年	3.00点	
品質	津波性能	3.00点	耐	震性	能	3.00点
品質	エネルギー/面積	0.1	26GJ	(58.	83)	3.00点
供給	面積/人数	36.	84 m²	(46.	00)	3.00点
供給	生徒充足	尼率	率		.10%	1.00点
財務	コスト/人	75,7	74円	(42.	83)	3.00点
財務	コスト/面積	1,6	51円	(42.	33)	3.00点





#### □コスト推計

主な投資コスト(建設時から現在ま	建設費	1,224		持管理費 B(※2)	23	百万円
(建成時から現在な	使用年数 A(※1)	7.0 年	小計		1,247	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	241	百万円	維持管理費 (※3)	33	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	274	百万円

### ※3 B÷A×10年

パターン別コス- ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	計画保全 パターン	241 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修 パターン	INIX	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿 命化を図っていく。
	建替え パターン		今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数336人の特別支援学校(知的障害・肢体不自由)である。 (施設規模人数:164名)
これまでの保全の 状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

施設面: 維持

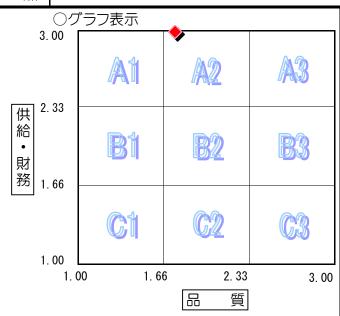
運用面: 改善

佣兄

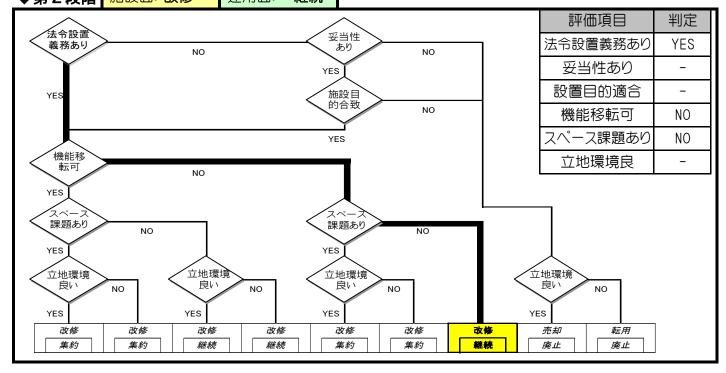
	施設番号	808022012001	施設名	称	吉	田特別支援学校	外部
	財産管理者	教育委員会財産		事務取扱者 吉田特別支援学校		吉田特別支援学校	
	用途 教育施設 設置年 1973				1973	THE REAL PROPERTY AND ADDRESS OF THE PERSON ADDRESS OF THE PERSON AND ADDRESS OF THE PERSON AND ADDRESS OF THE PERSON AD	
基本	施設目的	特別支援学校					
情 報	敷地面積	18,49	9.47 m <sup>‡</sup>	延床面	積	10,830.25 m²	内部
拟	土地台帳価格	620	,049 千円	建物台帳	価格	227,824 ∓F	9
	用途地域	第2種住居専用	地域	路線	西	一 円/1	ni
	交通アクセス	最寄り駅:島田から					
	文地アグピス	バス20分					

# ◆第1段階 A2 品質 1.80点 供給·財務 3.00点

 , · •					1.1- 715576		
〇主	な内訳		(担			舌弧内は偏差値)	
品質	建築後経〕	<b>過年数</b>	11.2年		1.12点		
品質	建築劣化度	屋上防	水	2000	.2年	2.00点	
品質	连梁为化反	外壁		2012	.9年	2.94点	
品質 設備劣化度		空気調和	設備	_	•	-	
品質	可帰力化反	受変電設備		2012	.9年	2.94点	
品質	津波性能	3.00点	耐	震性能		-	
品質	エネルギー/面積		-		-	-	
供給	面積/人数	95.00 m <sup>2</sup>		(50.	76)	3.00点	
供給	生徒充足	2率			-	-	
財務	コスト/人		-		-	-	
財務	コスト/面積		_	_	-	_	



# ◆**第2段階 施設面: 改修** 運用面: **継続**



## □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在ま で)	建設費	443	百万円	維持管理費 B(※2)	0	百万円
	使用年数 A(※1)	41.2 年	小計		443	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	348	百万円	維持管理費 (※3)	0	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	1,876	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	2,225	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費	計画保全 パターン	348 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修 パターン	2,343 百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿 命化を図っていく。
を除く)	建替え パターン	3,901 百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数135人の特別支援学校(知的障害・肢体不自由)である。(訪問教育は除く)
これまでの保全の 状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

### □財産管理担当の考え方

廃止 • 継続	評価変更希望有
の理由	平成26年4月に大規模改修を実施している。
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

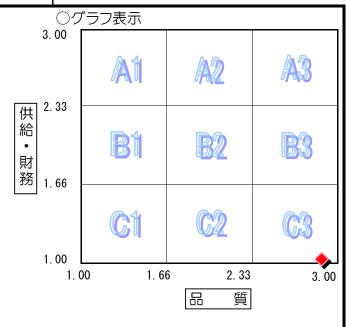
施設面: 維持 運用面: 継続

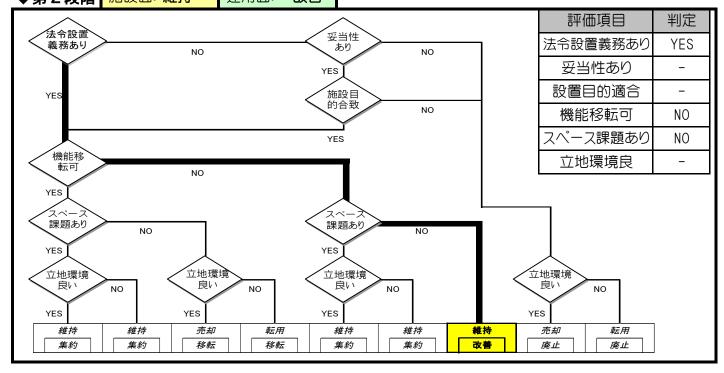
神 | 旅

	施設番号	808023012001	施設名	称	挡	卦川特別支援学校		外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱者	Í	掛川特別支援学校		
	用途	教育施		設置年 2015				
基本	基 施設目的 特別支援学校							
情報	敷地面積	22,99	9.98 m <sup>‡</sup>	延床面	<b>面積</b>	7,940.30	m <sup>²</sup>	内部
拟	土地台帳価格	708	,399 千円	建物台帕	長価格	1,789,515	千円	
	用途地域	第I種住居専用	地域	路線	価	_	円/㎡	
	交通アクセス	最寄り駅:掛川駅から						THE A
	文地アグピス	バス10分						

## ◆第 1 段階 C3 品質 3.00点 供給·財務 1.00点

7	אי כ	X PE		0.00	7111	17	\/\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	77 173
	○主	な内訳	(括弧内は偏差値)					
	品質	建築後経過	<b>過年数</b>		1.0年		3.0	0点
	品質	建築劣化度	屋上防	水	2015	.0年	3.0	0点
	品質	连架为汇反	外壁		2015	.0年	3.0	0点
	品質	設備劣化度	空気調和	設備	2015	.0年	3.0	0点
	品質	议(開力) 1.1.1之	受変電設備		2015.0年		3.0	0点
	品質	津波性能	3.00点	耐	震性能		-	_
	品質	エネルギー/面積		-		-	-	-
	供給	面積/人数	467.08 m <sup>2</sup>		(81.	18)	1.0	点0
	供給	生徒充足	<b>E</b> 率			-	-	_
	財務	コスト/人		1				_
	財務	コスト/面積		-	_	-		_





#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在ま	建設費	1,790	番 百万円	持管理費 B(※2)	0	百万円
(建設時がり現在よ	使用年数 A(※1)	1.0 年	小計		1,790	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	255	百万円	維持管理費 (※3)	0	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	255	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス	計画保全 パターン	255 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	大規模改修 パターン	1 / 18	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替え パターン	/ ANII	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数193人の特別支援学校(知的障害・肢体不自由)である。
これまでの保全の 状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

### □財産管理担当の考え方

廃止 ・ 継続 の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠 (ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

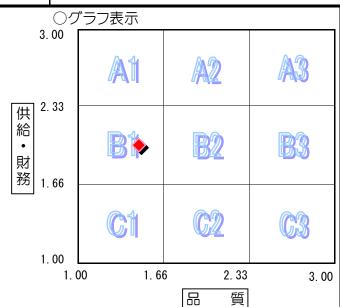
□総合評価

施設面: 維持 運用面: 改善

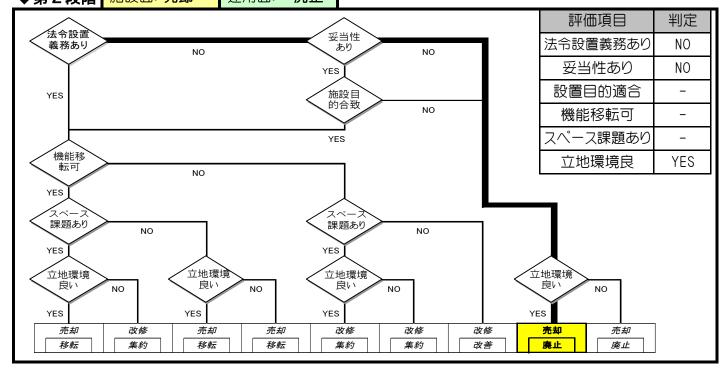
	施設番号	809003011001 施設名		称	埋蔵文化財センター			外部
	財産管理者	教育委員会	財産	事務取扱者		埋蔵文化財センター	_	
	用途	庁舎等		Ī	设置年	乍 1974		1 1 1 1
基本	施設目的	埋蔵文化財の調査研究						
· 情 報	敷地面積	7,500.00 m <sup>2</sup>		延床面	積	2,1	76.73 m <sup>*</sup>	内部
拟	土地台帳価格	0 千円		建物台帳	価格		0 千円	
	用途地域	第1種住宅専用地域 路線価 - 円/㎡						
	交通アクセス	最寄り駅:県立美術	館前駅か	6				
	文地アグピス	徒歩10分						

# ◆**第 1 段階** B1 品質 1.50点 供給·財務 2.00点

○主	:な内訳			(括弧内は	編差値)
品質	建築後経過	<b>B</b> 年数	4	12.0年	1.00点
品質	建築劣化度	屋上防	水	1996.0年	2.00点
品質	连来力心反	外壁		1996.0年	2.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備		1996.0年	2.00点
品質	以佣力记及	受変電設備		1974.0年	1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐	震性能	2.00点
品質	エネルギー/面積	0.	0.52GJ		2.00点
供給	面積/人数	7.95 m <sup>2</sup>		(39.67)	1.00点
財務	コスト/人	202,245円		(45.13)	2.00点
財務	コスト/面積	2,0	44円	(42.89)	3.00点



# ◆**第2段階 施設面: 売却** 運用面: **廃**止



#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在ま	建設費	186		持管理費 B(※2)	52	百万円
(建成時から現在よ	使用年数 A(※1)	42.0 年	小計		238	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	63	百万円	維持管理費 (※3)	12	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	75	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス ト試算の比較 (維持管理費	計画保全 パターン	125 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修 パターン	n 311	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿 命化を図っていく。
を除く)	建替え パターン		今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	平成28年度において、旧庵原高校跡地への移転
現在の利用状況	移転済
これまでの保全の 状況	
その他	耐震診断結果は川であり、要補強建物

### □財産管理担当の考え方

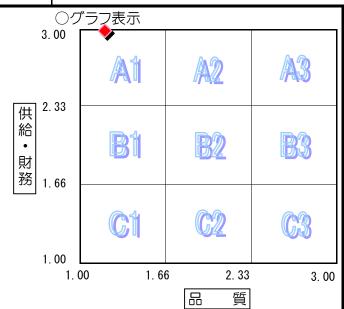
廃止 ・ 継続 の理由	評価変更の希望はないが、全庁的に立地環境を考慮した利活用の検討が必要。
上を裏付ける根拠 (ある場合)	

□総合評価 施設面: **転用** 運用面: **移転** 

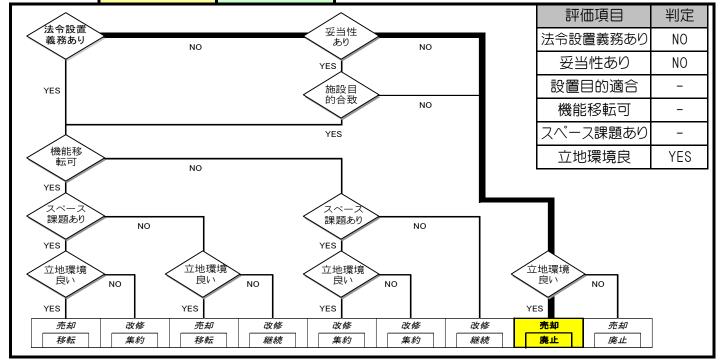
	施設番号	809003011002	称	埋蔵文(	外部			
	財産管理者	教育委員会財産		事務取扱者 埋蔵文化財センタ			•	
	用途	庁舎等		設置年 1964				
基本	施設目的	埋蔵文化財の保管						10.00
情報	敷地面積	1,7	39.11 m <sup>‡</sup>	延床面	面積	1,09	4.20 m <sup>2</sup>	内部
拟	土地台帳価格	194	,780 千円	建物台帕	長価格		0 千円	
	用途地域	工業地域		路線	<b>見価</b> — 円/㎡			
	交通アクセス	最寄り駅:清水駅か	6					
	文地アグピス	バス10分						20

## ◆第 1 段階 A1 品質 1.20点 供給·財務 3.00点

○主	な内訳			(括弧内は	編差値)
品質	建築後経過	<b>過年数</b>	5	52.0年	1.00点
品質	建築劣化度	屋上防	水	1964.0年	1.00点
品質	连来力记反	外壁		1964.0年	1.00点
品質	設備劣化度	空気調和	空気調和設備		1.00点
品質	过	受変電調	设備	1992.0年	1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐	震性能	1.00点
品質	エネルギー/面積	0.	09GJ	(63.70)	3.00点
供給	面積/人数		-	1	-
財務	コスト/人		-	-	-
財務	コスト/面積	1,2	38円	(41.73)	3.00点



# ◆第2段階<mark>施設面: 売却</mark>運用面: 廃止



#### □コスト推計

主な投資コスト(建設時から現在ま	建設費	32	超 百万円	持管理費 B(※2)	27	百万円
(建設時がり現在よで)	使用年数 A(※1)	52.0 年	小計		59	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	32	百万円	維持管理費 (※3)	5	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	37	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	計画保全 パターン	63 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修 パターン	310	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替え パターン	217	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	平成28年度において、旧庵原高校跡地への移転
現在の利用状況	移転済
これまでの保全の 状況	
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・ 継続 の理由	第2段階のとおり、廃止・売却とすることが妥当である
上を裏付ける根拠 (ある場合)	

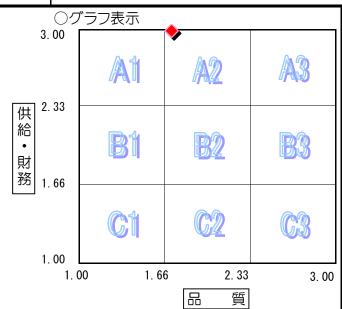
□総合評価 施設面: **売却** 運用面: **移転** 

現行計画(移転建て替え)に沿って、移転・売却を図っていく施設

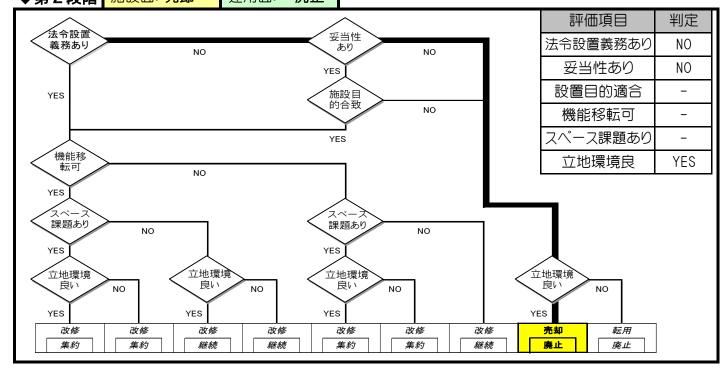
	施設番号	809003011003	称	埋蔵文化財	外部		
	財産管理者	教育委員会財		事務取扱者埋蔵文化財センター			
	用途	庁舎等	設	置年	1995		
基本	施設目的	埋蔵文化財の調査					
· 情 報	敷地面積	1,20	9.40 m <sup>‡</sup>	延床面積	責	695.74 m²	内部
拟	土地台帳価格		0 千円	建物台帳個	西格	14,711 千円	3
	用途地域	準工業地域	或	路線価	ī	<b>-</b> 円/n	
	交通アクセス	最寄り駅:静岡駅か バス15分	Ġ	-	<u>.</u>		

# ◆第1段階 A2 品質 1.76点 供給·財務 3.00点

○主	な内訳			(括弧内は	編差値)
品質	建築後経済	<b>過年数</b>	6	21.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防	屋上防水		1.00点
品質	连来力记反	外壁		1995.0年	1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備		1995.0年	1.00点
品質	可用力化反	受変電調	设備	1	1
品質	津波性能	3.00点	耐	震性能	1
品質	エネルギー/面積	0.0	09GJ	(63.85)	3.00点
供給	面積/人数		-	1	1
財務	コスト/人		_	_	-
財務	コスト/面積	屋上防7 外壁 空気調和記 受変電設 3.00点 0.0	24円	(41.43)	3.00点



# ◆**第2段階 施設面: 売却** 運用面: **廃**止



#### □コスト推計

主な投資コスト(建設時から現在ま	建設費	81	百万円 百万円	推持管理費 B(※2)	5	百万円
(建成時から現在よ	使用年数 A(※1)	21.0 年	小計		86	百万円

- ※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)
- ※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

	保全費	20	百万円	維持管理費 (※3)	2	百万円
将来コスト試算 (今後10年間)	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	22	百万円

※3 B÷A×10年

パターン別コス ト試算の比較 (維持管理費 を除く)	計画保全 パターン	40 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修 パターン	2111	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替え パターン	3/7	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロ ジェクトの有無	平成28年度において、旧庵原高校跡地への移転
現在の利用状況	移転済
これまでの保全の 状況	
その他	軽量鉄骨造のプレハブ建物である

#### □財産管理担当の考え方

廃止・ 継続 の理由	第2段階のとおり、廃止・売却とすることが妥当である
上を裏付ける根拠 (ある場合)	

□総合評価 施設面: **売却** 運用面: **移転** 

現行計画(移転建て替え)に沿って、移転・売却を図っていく施設